

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者	カクコウホジツン トカイイブク 学校法人 東海大学								
フリガナ大学の名称	トカイイブクガクイン 東海大学大学院 (Tokai University Graduate School)								
大学本部の位置	神奈川県平塚市北金目4-1-1								
大学の目的	東海大学大学院は、東海大学建学の精神にのっとり、専門分野における高度な学術の理論及び応用を教授研究し、その意義を認識すると同時に、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	体育学研究科博士課程後期の教育研究上の目的は、時代の変化に合わせ、体育学研究科博士課程前期の研究内容や高度解析技術を発展させて、高いレベルの「スポーツ科学」に精通しながら、独創的・創造性に優れた高度な研究能力を備えて専門分野の発展に寄与しつつ、それを社会に還元できる能力を有する人材を養成することである。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 ・体育学研究科体育学専攻修士課程 ・体育学部
	体育学研究科 [Graduate School of Physical Education] 体育学専攻 [Course of Physical Education] 博士課程後期 [Doctor Program] 計	年	人	年次人	人	博士(体育学) [Doctor of Physical Education]	令和3年4月 第1年次	神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	東海大学大学院 地球環境科学研究科(廃止) 地球環境科学専攻 (△10) ※令和3年4月学生募集停止 体育学研究科体育学専攻修士課程〔定員増〕(5)(令和3年4月) 令和3年4月名称変更予定 体育学研究科体育学専攻修士課程→体育学研究科体育学専攻博士課程前期								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	体育学研究科体育学専攻(博士課程後期)	講義	演習	実験・実習	計				
		6科目	7科目	0科目	13科目	16単位			

教	学部等の名称		専任教員等					兼任教員
			教授	准教授	講師	助教	計	
	人	人	人	人	人	人	人	
新設分	体育学研究科	11	0	1	1	13	0	0
	体育学専攻（博士課程後期）	(11)	(0)	(1)	(1)	(13)	(0)	(0)
	計	(11)	(0)	(1)	(1)	(13)	(0)	—
既	総合理工学研究科	107	25	4	1	137	0	0
	総合理工学専攻（博士課程）	(107)	(25)	(4)	(1)	(137)	(0)	(0)
	生物科学研究科	15	3	0	0	18	0	0
員	生物科学専攻（博士課程）	(15)	(3)	(0)	(0)	(18)	(0)	(0)
	文学研究科	9	2	0	0	11	0	2
	文明研究専攻（博士課程前期）	(9)	(2)	(0)	(0)	(11)	(0)	(2)
組	文学研究科	13	2	0	0	15	0	2
	文明研究専攻（博士課程後期）	(13)	(2)	(0)	(0)	(15)	(0)	(2)
	文学研究科	8	5	1	0	14	0	5
織	史学専攻（博士課程前期）	(8)	(5)	(1)	(0)	(14)	(0)	(5)
	文学研究科	8	5	0	0	13	0	4
	史学専攻（博士課程後期）	(8)	(5)	(0)	(0)	(13)	(0)	(4)
設	文学研究科	9	3	0	0	12	0	3
	日本文学専攻（博士課程前期）	(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	(0)	(3)
	文学研究科	7	2	0	0	9	0	1
の	日本文学専攻（博士課程後期）	(7)	(2)	(0)	(0)	(9)	(0)	(1)
	文学研究科	4	1	1	0	6	0	1
	英文学専攻（博士課程前期）	(4)	(1)	(1)	(0)	(6)	(0)	(1)
概	文学研究科	4	0	1	0	5	0	1
	英文学専攻（博士課程後期）	(4)	(0)	(1)	(0)	(5)	(0)	(1)
	文学研究科	9	5	1	0	15	0	6
要	コミュニケーション学専攻（博士課程前期）	(9)	(5)	(1)	(0)	(15)	(0)	(6)
	文学研究科	8	1	0	0	9	0	0
	コミュニケーション学専攻（博士課程後期）	(8)	(1)	(0)	(0)	(9)	(0)	(0)
分	文学研究科	6	2	0	0	8	0	2
	観光学専攻（修士課程）	(6)	(2)	(0)	(0)	(8)	(0)	(2)
	政治学研究科	6	5	0	0	11	0	0
の	政治学専攻（博士課程前期）	(6)	(5)	(0)	(0)	(11)	(0)	(0)
	政治学研究科	5	1	0	0	6	0	0
	政治学専攻（博士課程後期）	(5)	(1)	(0)	(0)	(6)	(0)	(0)
要	経済学研究科	9	3	0	0	12	0	0
	応用経済学専攻（博士課程前期）	(9)	(3)	(0)	(0)	(12)	(0)	(0)
	経済学研究科	9	1	0	0	10	0	0
分	応用経済学専攻（博士課程後期）	(9)	(1)	(0)	(0)	(10)	(0)	(0)
	法学研究科	11	3	0	0	14	0	0
	法律学専攻（博士課程前期）	(11)	(3)	(0)	(0)	(14)	(0)	(0)
の	法学研究科	11	0	0	0	11	0	0
	法律学専攻（博士課程後期）	(11)	(0)	(0)	(0)	(11)	(0)	(0)
	人間環境学研究科	10	6	0	0	16	0	12
要	人間環境学専攻（修士課程）	(10)	(6)	(0)	(0)	(16)	(0)	(12)
	芸術学研究科	3	1	1	0	5	0	4
	音響芸術専攻（修士課程）	(3)	(1)	(1)	(0)	(5)	(0)	(4)
分	芸術学研究科	7	3	0	0	10	0	12
	造型芸術専攻（修士課程）	(7)	(3)	(0)	(0)	(10)	(0)	(12)
	体育学研究科	28	1	2	2	33	0	0
の	体育学専攻（博士課程前期）	(28)	(1)	(2)	(2)	(33)	(0)	(0)
	理学研究科	12	10	3	0	25	0	1
	数理学専攻（修士課程）	(12)	(10)	(3)	(0)	(25)	(0)	(1)
要	理学研究科	13	0	2	0	15	0	1
	物理学専攻（修士課程）	(13)	(0)	(2)	(0)	(15)	(0)	(1)
	理学研究科	9	3	2	0	14	0	0
分	化学専攻（修士課程）	(9)	(3)	(2)	(0)	(14)	(0)	(0)
	工学研究科	31	11	6	2	50	0	5
	電気電子工学専攻（修士課程）	(31)	(11)	(6)	(2)	(50)	(0)	(5)
の	工学研究科	23	8	3	1	35	0	8
	応用理化学専攻（修士課程）	(23)	(8)	(3)	(1)	(35)	(0)	(8)
	工学研究科	17	6	0	3	26	0	10
要	建築土木工学専攻（修士課程）	(17)	(6)	(0)	(3)	(26)	(0)	(10)
	工学研究科	26	11	7	1	45	0	2
	機械工学専攻（修士課程）	(26)	(11)	(7)	(1)	(45)	(0)	(2)
分	工学研究科	8	2	1	0	11	0	5
	医用生体工学専攻（修士課程）	(8)	(2)	(1)	(0)	(11)	(0)	(5)
	情報通信学研究科	19	10	1	0	30	0	4
の	情報通信学専攻（修士課程）	(19)	(10)	(1)	(0)	(30)	(0)	(4)
	海洋学研究科	35	20	4	0	59	0	6
	海洋学専攻（修士課程）	(35)	(20)	(4)	(0)	(59)	(0)	(6)
要	医学研究科	97	40	4	0	141	0	6
	医科学専攻（修士課程）	(97)	(40)	(4)	(0)	(141)	(0)	(6)
	医学研究科	98	37	3	0	138	0	4
分	先端医科学専攻（博士課程）	(98)	(37)	(3)	(0)	(138)	(0)	(4)
	健康科学研究科	10	11	18	0	39	0	22
	看護学専攻（修士課程）	(10)	(11)	(18)	(0)	(39)	(0)	(22)

令和2年9月名称変更届出
(予定)

教員組織の概要	既設分	健康科学研究科 保健福祉学専攻（修士課程）	5 (5)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	1 (1)	
		農学研究科 農学専攻（修士課程）	16 (16)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	12 (12)	
		生物学研究科 生物学専攻（修士課程）	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	
		計	732 (732)	264 (264)	74 (74)	10 (10)	1080 (1080)	0 (0)	— (—)	
		合計	743 (743)	264 (264)	75 (75)	11 (11)	1093 (1093)	0 (0)	— (—)	
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		599 (599)		476 (476)		1,075 (1075)			
	技 術 職 員		59 (59)		15 (15)		74 (74)			
	図 書 館 専 門 職 員		41 (41)		29 (29)		70 (70)			
	そ の 他 の 職 員		19 (19)		56 (56)		75 (75)			
計			718 (718)		576 (576)		1,294 (1294)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			東海大学付属星高等学校と 共用 名称：東海大学付属星高等 学校（通信制） 取容定員：3,000名 校地面積基準：なし 内借用地：57,586.20㎡ 内借用地：47,855.12㎡ 内借用地：153,717.23㎡ 借用期間：2～30年	
	校舎敷地	1,680,407.08 ㎡	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡		1,682,459.96 ㎡				
	運動場用地	396,797.97 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡		396,797.97 ㎡				
	小 計	2,077,205.05 ㎡	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡		2,079,257.93 ㎡				
	そ の 他	316,979.76 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡		316,979.76 ㎡				
合 計	2,394,184.81 ㎡	2,052.88 ㎡	0.00 ㎡		2,396,237.69 ㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		508,835.38 ㎡ (508,835.38 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)		508,835.38 ㎡ (508,835.38 ㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設			大学全体	
	437 室	329 室	1,191 室	86 室 (補助職員 21 人)		7 室 (補助職員 0 人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称 体育学研究科体育学専攻博士課程後期			室 数			13 室		
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	体育学部と共用		
	体育学研究科 体育学専攻	25,390 [3,940] (24,630 [3,823])	4,051 [2,840] (3,284 [2,081])	2,506 [2,403] (1,748 [1,647])	159 (152)	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])			
	計	25,390 [3,940] (24,630 [3,823])	4,051 [2,840] (3,284 [2,081])	2,506 [2,403] (1,748 [1,647])	159 (152)	0 [0] (0 [0])	0 [0] (0 [0])			
図書館		面積 20,494 ㎡	閲覧座席数 3,568 席		取 納 可 能 冊 数 2,248,166 冊			大学全体		
体育館		面積 24,060.79 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 トレーニングセンター			25mプール			大学全体	
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究科単位での算出不能なため、学部との合計 図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		330千円	330千円	330千円	—千円	—千円	—千円	
		共同研究費等		4,742千円	4,742千円	4,742千円	—千円	—千円	—千円	
		図書購入費	2,740千円	2,877千円	3,021千円	3,172千円	—千円	—千円	—千円	
	設備購入費	4,510千円	4,510千円	4,510千円	4,510千円	—千円	—千円	—千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,369千円	1,069千円	1,069千円	—千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、手数料等								

既 設 大 学 の 状 况	大学の名称	東海大学								
	学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	備考
		年	人	年次 人	人		倍			
大 学	文学部		370	—	1,490		1.01	昭和25年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	文学部 文明学科	4	60	—	240	学士(文学)	1.03	平成13年	〃	
	文学部 アジア文明学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 E-ロケット文明学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 アフリカ文明学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 北欧学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和42年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 歴史学科		130	—	530		1.02	昭和35年	〃	
	文学部 日本史専攻	4	50	—	210	学士(文学)	1.07	昭和58年	〃	
	文学部 東洋史専攻	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和58年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 西洋史専攻	4	50	—	200	学士(文学)	0.99	昭和58年	〃	
	文学部 考古学専攻	4	30	—	120	学士(文学)	0.99	昭和58年	〃	
	文学部 日本文学科	4	90	—	360	学士(文学)	1.01	平成13年	〃	
	文学部 文芸創作学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 英語文化コミュニケーション学科	4	90	—	360	学士(文学)	1.00	昭和35年	〃	
	文学部 広報行政学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	文学部 心理・社会学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
大 学	文化社会学部		450	—	1,350		1.01	平成30年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	文化社会学部 アジア学科	4	70	—	210	学士(文化社会学)	1.03	平成30年	〃	
	文化社会学部 E-ロケット・アフリカ学科	4	70	—	210	学士(文化社会学)	0.99	平成30年	〃	
	文化社会学部 北欧学科	4	60	—	180	学士(文化社会学)	1.02	平成30年	〃	
	文化社会学部 文芸創作学科	4	60	—	180	学士(文化社会学)	1.01	平成30年	〃	
	文化社会学部 広報行政学科	4	100	—	300	学士(文化社会学)	1.01	平成30年	〃	
	文化社会学部 心理・社会学科	4	90	—	270	学士(文化社会学)	0.99	平成30年	〃	
大 学	政治経済学部		480	—	1,890		1.00	昭和41年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	政治経済学部 政治学科	4	160	—	630	学士(政治学)	1.03	昭和41年	〃	
	政治経済学部 経済学科	4	160	—	630	学士(経済学)	0.99	昭和41年	〃	
政治経済学部 経営学科	4	160	—	630	学士(経営学)	0.99	昭和49年	〃		
大 学	法学部		300	—	1,200		1.01	昭和61年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	法学部 法律学科	4	300	—	1,200	学士(法学)	1.01	昭和61年	〃	
大 学	教養学部		330	—	1,320		1.03	昭和43年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	教養学部 人間環境学科		160	—	640		1.01	昭和43年	〃	
	教養学部 自然環境課程	4	65	—	260	学士(教養学)	0.97	昭和44年	〃	
	教養学部 社会環境課程	4	95	—	380	学士(教養学)	1.01	昭和44年	〃	
	教養学部 芸術学科		90	—	360		1.02	昭和43年	〃	
	教養学部 音楽学課程	4	32	—	128	学士(教養学)	1.04	昭和44年	〃	
	教養学部 美術学課程	4	20	—	80	学士(教養学)	1.08	昭和44年	〃	
	教養学部 デザイン学課程	4	38	—	152	学士(教養学)	1.03	昭和44年	〃	
教養学部 国際学科	4	80	—	320	学士(教養学)	1.09	昭和47年	〃		
大 学	体育学部		480	—	1,880		1.01	昭和42年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	体育学部 体育学科	4	110	—	430	学士(体育学)	0.97	昭和42年	〃	
	体育学部 競技スポーツ学科	4	140	—	550	学士(体育学)	1.03	平成16年	〃	
	体育学部 武道学科	4	60	—	235	学士(体育学)	1.02	昭和43年	〃	
	体育学部 生涯スポーツ学科	4	110	—	430	学士(体育学)	0.99	昭和46年	〃	
体育学部 スポーツレジャーマネジメント学科	4	60	—	235	学士(体育学)	1.03	平成16年	〃		
大 学	健康学部		200	—	600		1.02	平成30年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	健康学部 健康マネジメント学科	4	200	—	600	学士(健康マネジメント学)	1.02	平成30年	〃	
大 学	理学部		320	—	1,280		0.98	昭和39年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	理学部 数学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.99	昭和39年	〃	
	理学部 情報数理学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.99	昭和49年	〃	
	理学部 物理学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.98	昭和39年	〃	
理学部 化学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.98	昭和39年	〃		
大 学	情報理工学部		200	—	800		1.03	平成13年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	情報理工学部 情報科学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.04	平成13年	〃	
	情報理工学部 コンピュータ応用工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.03	平成13年	〃	

既 設 大 学 等 の 状 況	工学部		1,390	—	5,630		1.01	昭和25年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	生命化学科	4	100	—	400	学士(工学)	0.99	平成13年	〃		
	応用化学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成13年	〃		
	光・画像工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.02	平成18年	〃		
	原子力工学科	4	40	—	160	学士(工学)	0.89	平成18年	〃		
	電気電子工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.03	平成18年	〃		
	材料科学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.98	昭和41年	〃		
	建築学科	4	200	—	800	学士(工学)	1.07	昭和41年	〃		
	土木工学科	4	120	—	480	学士(工学)	1.05	昭和41年	〃		
	精密工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.06	昭和46年	〃		
	機械工学科	4	140	—	570	学士(工学)	0.99	昭和46年	〃		
	動力機械工学科	4	150	—	650	学士(工学)	0.99	昭和46年	〃		
	航空宇宙学科		140	—	570		0.99	昭和42年	〃		
	航空宇宙専攻	4	90	—	370	学士(工学)	1.03	昭和42年	〃		
	航空操縦学専攻	4	50	—	200	学士(工学)	0.93	昭和42年	〃		
	医用生体工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.04	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143		
	観光学部			200	—	800		1.03	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4	
	観光学科	4	200	—	800	学士(観光学)	1.03	平成22年	〃		
	情報通信学部			320	—	1,280		1.02	平成20年	東京都港区高輪2-3-23	
	情報メディア学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成20年	〃		
組込みソフトウェア工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.07	平成20年	〃			
経営システム工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.00	平成20年	〃			
通信ネットワーク工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.04	平成20年	〃			
海洋学部			530	—	2,120		1.00	昭和37年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1		
海洋文明学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.00	平成16年	〃			
環境社会学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.06	平成23年	〃			
海洋地球科学科	4	80	—	320	学士(海洋学)	1.01	平成23年	〃			
水産学科	4	120	—	480	学士(海洋学)	1.04	平成18年	〃			
海洋生物学科	4	90	—	360	学士(海洋学)	1.03	平成18年	〃			
航海工学科		80	—	320		0.83	平成23年	〃			
航海学専攻	4	20	—	80	学士(海洋学)	0.96	平成23年	〃			
海洋機械工学専攻	4	60	—	240	学士(海洋学)	0.78	平成23年	〃			
医学部			203	—	960		0.90	昭和49年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143		
医学科	6	118	—	705	学士(医学)	0.88	昭和49年	〃			
看護学科	4	85	—	255	学士(看護学)	0.97	平成30年	〃			
健康科学部								平成7年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	平成30年度より学生募集停止	
看護学科	4	—	—	—	学士(看護学)	—	—	平成7年	〃	平成30年度より学生募集停止	
社会福祉学科	4	—	—	—	学士(社会福祉学)	—	—	平成7年	〃	平成30年度より学生募集停止	
経営学部			230	—	920		0.99	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1		
経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.04	平成25年	〃			
観光ビジネス学科	4	80	—	320	学士(経営学)	0.92	平成25年	〃			
基盤工学部			140	—	560		0.74	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1		
電気電子情報工学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.73	平成25年	〃			
医療福祉工学科	4	60	—	240	学士(工学)	0.77	平成25年	〃			
農学部			230	—	920		0.89	平成20年	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽		
応用植物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.95	平成20年	〃			
応用動物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	0.88	平成20年	〃			
バイオサイエンス学科	4	70	—	280	学士(農学)	0.86	平成20年	〃			
国際文化学部			260	—	1,040		1.01	平成20年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1		
地域創造学科	4	110	—	440	学士(教養学)	1.05	平成20年	〃			
国際コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士(教養学)	1.05	平成20年	〃			
デザイン文化学科	4	70	—	280	学士(教養学)	0.89	平成24年	〃			
生物学部			140	—	560		1.02	平成24年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1		
生物学科	4	70	—	280	学士(理学)	0.99	平成24年	〃			
海洋生物科学科	4	70	—	280	学士(理学)	1.05	平成24年	〃			

既	《大学院》											
	総合理工学研究科									平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
	総合理工学専攻 博士課程	3	35	—	105	博士(理学)・博士(工学)	0.45			平成17年	〃	
設	地球環境科学研究科									平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
	地球環境科学専攻 博士課程	3	10	—	30	博士(理学)・博士(工学)	0.30			平成17年	〃	
大	生物科学研究科									平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
	生物科学専攻 博士課程	3	10	—	30	博士(理学)・博士(農学) 博士(保健学)	0.10			平成17年	〃	
学	文学研究科									昭和44年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	文明研究専攻 博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.31			昭和49年	〃	
	文明研究専攻 博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.33			昭和51年	〃	
	史学専攻 博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.06			昭和44年	〃	
	史学専攻 博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.00			昭和46年	〃	
	日本文学専攻 博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.68			昭和49年	〃	
	日本文学専攻 博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.50			昭和51年	〃	
	英文学専攻 博士課程前期	2	4	—	8	修士(文学)	0.00			昭和44年	〃	
	英文学専攻 博士課程後期	3	2	—	6	博士(文学)	0.00			昭和46年	〃	
	コミュニケーション学専攻 博士課程前期	2	8	—	16	修士(文学)	0.43			昭和49年	〃	
	コミュニケーション学専攻 博士課程後期	3	4	—	12	博士(文学)	0.00			昭和51年	〃	
	観光学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士(観光学)	0.43			平成26年	〃	
	政治学研究科										昭和46年	神奈川県平塚市北金目4-1-1
政治学専攻 博士課程前期	2	10	—	20	修士(政治学)	0.05			昭和46年	〃		
政治学専攻 博士課程後期	3	5	—	15	博士(政治学)	0.00			昭和48年	〃		
経済学研究科										昭和54年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
応用経済学専攻 博士課程前期	2	10	—	20	修士(経済学)	0.10			昭和54年	〃		
応用経済学専攻 博士課程後期	3	5	—	15	博士(経済学)	0.00			昭和56年	〃		
法学研究科										平成2年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学専攻 博士課程前期	2	10	—	20	修士(法学)	0.00			平成2年	〃		
法律学専攻 博士課程後期	3	5	—	15	博士(法学)	0.00			平成5年	〃		
人間環境学研究科										平成19年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士(学術)	0.40			平成19年	〃		
芸術学研究科										昭和48年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
音響芸術専攻 修士課程	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.37			昭和48年	〃		
造型芸術専攻 修士課程	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.25			昭和48年	〃		
体育学研究科										昭和51年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学専攻 修士課程	2	15	—	30	修士(体育学)	1.33			昭和51年	〃		
理学研究科										昭和43年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数理学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士(理学)	0.43			昭和43年	〃		
物理学専攻 修士課程	2	12	—	24	修士(理学)	1.37			昭和43年	〃		
化学専攻 修士課程	2	12	—	24	修士(理学)	0.49			昭和43年	〃		
工学研究科										昭和38年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
電気電子工学専攻 修士課程	2	50	—	100	修士(工学)	1.01			平成28年	〃		
応用理化学専攻 修士課程	2	45	—	90	修士(工学)	1.24			平成28年	〃		
建築土木工学専攻 修士課程	2	25	—	50	修士(工学)	1.10			平成28年	〃		
機械工学専攻 修士課程	2	75	—	150	修士(工学)	1.19			平成28年	〃		
医用生体工学専攻 修士課程	2	8	—	16	修士(工学)	0.37			平成26年	神奈川県伊勢原市下糟屋143		
情報通信学研究科										平成24年	東京都港区高輪2-3-23	
情報通信学専攻 修士課程	2	30	—	60	修士(情報通信学)	0.94			平成24年	〃		
海洋学研究科										昭和42年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋学専攻 修士課程	2	20	—	40	修士(海洋学)	0.62			平成27年	〃		

況

既 設 大 学 等 の 状 況	医学研究科								昭和55年	神奈川県伊勢原市下糟屋143		
	医科学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(医科学)	0.80	平成7年	〃		
	先端医科学専攻	博士課程	4	35	—	140	博士(医学)	0.49	平成17年	〃		
	健康科学研究科									平成11年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
	看護学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(看護学)	0.85	平成11年	〃		
	保健福祉学専攻	修士課程	2	10	—	20	修士(保健福祉学)	0.30	平成11年	〃		
	農学研究科									平成20年	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
	農学専攻	修士課程	2	12	—	24	修士(農学)	0.87	平成20年	〃		
	生物学研究科									平成31年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
	生物学専攻	修士課程	2	8	—	8	修士(理学)	0.25	平成31年	〃		
大学の名称		東海大学短期大学部										
学部等の名称		修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地			
		年	人	年次 人	人		倍					
食物栄養学科		2	—	—	—	短期大学士(食物栄養学)	—	昭和41年	静岡県静岡市葵区宮前町101	令和2年度より学生募集停止		
児童教育学科		2	—	—	—	短期大学士(児童教育学)	—	昭和44年	〃	令和2年度より学生募集停止		
大学の名称		東海大学医療技術短期大学										
学部等の名称		修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地			
		年	人	年次 人	人		倍					
看護学科		3	—	—	—	短期大学士(看護学)	—	昭和49年	神奈川県平塚市北金目4-1-2	令和2年度より学生募集停止		

<p>附属施設の概要</p>	<p>名称：東海大学医学部付属病院 目的：医療機関 所在地：神奈川県伊勢原市下糟屋143 設置年月：昭和50年2月 規模等：土地 116,282.91㎡、建物 83,822.63㎡</p>
	<p>名称：東海大学医学部付属東京病院 目的：医療機関 所在地：東京都渋谷区代々木1-2-5 設置年月：昭和58年12月 規模等：土地 2,498.45㎡、建物 7,550.91㎡</p>
	<p>名称：東海大学医学部付属大磯病院 目的：医療機関 所在地：神奈川県中郡大磯町月京21-1 設置年月：昭和59年4月 規模等：土地 23,286.72㎡、建物 19,950.38㎡</p>
	<p>名称：東海大学医学部付属八王子病院 目的：医療機関 所在地：東京都八王子市石川町1838 設置年月：平成14年3月 規模等：土地 47,708.39㎡、建物 46,636.17㎡</p>

教 育 課 程 等 の 概 要														
(体育学研究科体育学専攻 博士課程後期)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通	スポーツ科学研究理論	1前	2			○			11		1	1		オムニバス
	スポーツ科学研究法A	1後		2		○			1		1			オムニバス
	スポーツ科学研究法B	1後		2		○			1			1		オムニバス
	小計（3科目）	—	2	4			—		11	0	1	1		
専門	高度スポーツ文化社会科学特講	1前		2		○			3					オムニバス・共同（一部）
	高度スポーツ医科学特講	1前		2		○			4					オムニバス・共同（一部）
	高度実践スポーツ科学特講	1前		2		○			4					オムニバス・共同（一部）
	高度スポーツ文化社会科学演習	1後		2			○		3					オムニバス・共同（一部）
	高度スポーツ医科学演習	1後		2			○		4					オムニバス・共同（一部）
	高度実践スポーツ科学演習	1後		2			○		4					オムニバス・共同（一部）
小計（6科目）			12			—		11	0	0	0			
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究1	2前	2				○		11		1	1		
	体育・スポーツ科学特別研究2	2後	2				○		11		1	1		
	体育・スポーツ科学特別研究3	3前	2				○		11		1	1		
	体育・スポーツ科学特別研究4	3後	2				○		11		1	1		
	小計（4科目）	—	8	0			—		11	0	1	1		
合計（13科目）		—	10	16			—		11	0	1	1		
学位又は称号		博士（体育学）		学位又は学科の分野				体育関係						
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
共通から「スポーツ科学研究理論」を含め4単位以上修得し、且つ研究指導を受ける教員が担当する「体育・スポーツ科学特別研究1, 2, 3, 4」を必修とし、合計16単位以上を修得して、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。							1学年の学期区分			2学期				
							1学期の授業期間			14週				
							1時限の授業時間			100分				

教育課程等の概要															
(体育学研究科体育学専攻 修士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通	体育学研究総論	1前	2			○			12	1	2				オムニバス
	体育学研究法A	1前	2			○			3						オムニバス
	体育学研究法B	1後	2			○			1						
	体育学文献講読	1後		2		○			1						
	体育学特論A	1前・2後		2		○			2						共同
	体育学特論B	1後・2後		2		○			1						
	体育学特論C	1前・2前		2		○			1						
	体育学特論D	1後・2後		2		○						1			
小計(8科目)	-	6	10	0	-			12	1	2	1	0			
スポーツ文化社会科学領域	体育哲学特論	1前・2前		2		○			1						
	体育哲学演習	1後・2後		2		○			1						
	スポーツ社会学特論	1前・2前		2		○					1				
	スポーツ社会学演習	1後・2後		2			○				1				
	スポーツ史特論	1前・2前		2		○			1						
	スポーツ史演習	1後・2後		2			○		1						
	スポーツ心理学特論	1前・2前		2		○				1					
	スポーツ心理学特別実習	1後・2後		2				○		1					
	応用スポーツ心理学特論	1前・2前		2		○			1						
	応用スポーツ心理学特別実習	1後・2後		2				○	1						
小計(10科目)	-	0	20	0	-			3	1	1	0	0			
スポーツ医学領域	運動生理学特論	1前・2前		2		○			1						
	運動生理学特別実習	1後・2後		2				○	1						
	スポーツバイオメカニクス特論	1後・2後		2		○			1						
	スポーツバイオメカニクス特別実習	1前・2前		2				○	1						
	スポーツ医学特論	1前・2前		2		○			2						オムニバス
	スポーツ医学特別実習	1後・2後		2				○	1						
	体力学特論	1後・2後		2		○			1						
	体力学特別実習	1前・2前		2				○	1						
小計(8科目)	-	0	16	0	-			5	0	0	0	0			
実践スポーツ科学領域	武道学特論	1後・2後		2		○			4						オムニバス
	武道学特別実習	1前・2前		2				○	2						オムニバス
	スポーツ方法学特論	1前・2前		2		○			1						
	スポーツ方法学特別実習	1後・2後		2				○	1						
	生涯スポーツ特論	1前・2前		2		○			1						
	生涯スポーツ演習	1後・2後		2			○		1						
	スポーツ&レジャー特論	1前・2前		2		○			1			1			共同
	スポーツ&レジャー演習	1後・2後		2			○		1						
	スポーツマネジメント特論	1前・2前		2		○					1				
	スポーツマネジメント演習	1後・2後		2			○		1						
	健康教育学特論	1前・2前		2		○			1						
	健康教育学演習	1後・2後		2			○								
	スポーツ運動学特論	1前・2前		2		○			1						
	スポーツ運動学演習	1後・2後		2			○		1						
	コーチング特論	1前・2前		2		○			1						
	コーチング特別実習	1後・2後		2				○							共同
	トレーニング特論	1後・2後		2		○			1						
トレーニング特別実習	1前・2前		2				○	1							
保健体育科教育学特論	1前・2前		2		○			1							
保健体育科教育学演習	1後・2後		2			○		1							
小計(20科目)	-	0	40	0	-			15	0	1	1	0			
研究ゼミナール	体育学研究1	1前	2					○	18	1	2				
	体育学研究2	1後	2					○	18	1	2				
	体育学研究3	2前	2					○	18	1	2				
	体育学研究4	2後	2					○	18	1	2				
	小計(4科目)	-	8	0	0	-			18	1	2	0	0		
合計(50科目)			-	14	86	0	-		28	1	2	2	0		
学位又は称号			修士(体育学)			学位又は学科の分野			体育関係						
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
修了には下記の要件をすべて満たすこと。						1学年の学期区分			2学期						
1. 「体育学研究総論」「体育学研究法A」「体育学研究法B」および研究指導を受ける教員が担当する「体育学研究1・2・3・4」を修得すること。 2. 合計30単位以上を修得すること。 3. 修士論文の審査、並びに最終試験に合格すること。						1学期の授業期間			14週						
						1時限の授業時間			100分						

教育課程等の概要														
(体育学部体育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論Ⅰ 現代文明	現代文明論	2後	2			○								兼18 オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼18
Ⅱ 現代教養科目	基礎教養科目													
	人文科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	社会科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	自然科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
発展教養科目	シティズンシップ	1後	1			○								兼5
	ボランティア	1後	1			○								兼5
	地域理解	1前	1			○								兼3
	国際理解	1前	1			○								兼3 オムニバス
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼15
目健康スポーツ科	健康・フィットネス理論実習	1前	1					○						兼3 共同
	生涯スポーツ理論実習	1後	1					○						兼6 共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼8
Ⅲ 英語科目	英語リスニング&スピーキング	1前	2					○						兼20
	英語リーディング&ライティング	1後	2					○						兼20
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼35
	グローバル人材													
育成科目	グローバルスキル	2後	2					○						兼16
	アカデミック英語	2前	2					○						兼16
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼31

教育課程等の概要																	
(体育学部体育学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	身体教育学	体育・スポーツ総論	1後	2			○			3					兼12	オムニバス	
		体育哲学	1前	2			○			1							
		体育経営管理学	1・2前・後		2			○								兼1	
		健康学概論	2後		2			○								兼1	
		武道概論	2後		2			○								兼2	
		生涯スポーツ概論	2前		2			○								兼1	
		レジャー・レクリエーション概論	1前		2			○								兼1	
		小計(7科目)	—	4	10	0		—		3	0	0	0	0	0	兼17	
スポーツ科学		スポーツ社会学	2前	2			○					1					
		スポーツ史	1・2前・後		2			○		1						兼1	
		スポーツ心理学	1・2前・後		2			○								兼2	
		スポーツ運動学(運動方法学を含む)	2前・後		2			○		1						兼1	
		スポーツバイオメカニクス	2前・後		2			○		2							
		スポーツ栄養学	1・2前・後		2			○								兼1	
		スポーツ人類学	3後		2			○								兼1	
		スポーツ医学	3前		2			○								兼1	
		アダブテッド・スポーツ概論	3後		2			○		1							
		小計(9科目)	—	2	16	0		—		5	0	1	0	0	0	兼6	

教育課程等の概要																	
(体育学部体育学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	スポーツ指導法	体づくり運動 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○	1						
		器械運動 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		陸上競技 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼4 共同
		水泳 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		バスケットボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		ハンドボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼2
		サッカー 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼2
		ラグビー 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼2
		バレーボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼2
		卓球 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		テニス 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		バドミントン 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		ソフトボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
		柔道 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼2
		剣道 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼3
		ダンス 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○							兼1
	小計(16科目)	—	0	16	0	—			1	0	0	0	0	0	兼25		
基礎 関連 連 科 目	解剖学	1前・後		2					○	1						兼2	
	発育発達老化論	3前		2					○	1							
	スポーツ統計	3前・後		2					○	1							
	スポーツ産業概論	3後		2					○							兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			3	0	0	0	0	0	兼3		
教職 関 連 科 目	保健授業論	2前		2					○	1							
	体育授業論	2後		2					○	1							
	保健体育科教育法1	3前		2					○	2						共同	
	保健体育科教育法2	3後		2					○	2						共同	
	保健体育科教材論	3前・後		2					○	2						共同	
	保健体育科教育実践論	3後		2					○	1							
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			4	0	0	0	0	0			

教育課程等の概要														
(体育学部体育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目(学科開講科目)	体育・スポーツ科学基礎ゼミナール	1前	2			○			3					共同
	体育・スポーツ科学入門	1後	2			○			10		1			オムニバス
	基礎身体運動実習A	1前・後	1					○	2					オムニバス
	基礎身体運動実習B	1前・後	1					○	3		1			オムニバス
	体育・スポーツ科学研究法	1後		2		○			1		1			オムニバス
	情報処理	1前・後		2		○								兼2
	生理学	1後	2			○								兼1
	運動生理学	2後	2			○								兼1
	小計(8科目)	—	10	4	0			—	10	0	1	0	0	兼4
保健体育科教育学	衛生学(労働衛生を含む)	3前		2		○								兼1
	公衆衛生学	3前		2		○								兼1
	学校保健概論(小児保健・精神保健・学校安全を含む)	3前		2		○								兼1
	救急処置法	3前		2		○								兼1
	学校体育概論	2後		2		○			1					
	学校保健の指導論	2前		2		○			1					
	保健授業の基礎	2後		2		○			3					オムニバス
	体育授業の基礎	2前		2		○			1					
	保健体育授業づくり演習	3前		2			○		2					共同
	教職基礎演習	3後		2			○							兼1
	保健体育学習指導法実習 A	3前		2				○	1					
	保健体育学習指導法実習 B	3後		2				○	1					
小計(12科目)	—	0	24	0			—	4	0	0	0	0	兼4	

教育課程等の概要														
(体育学部体育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目(学科開講科目)	スポーツ人文社会科学の基礎	2前		2		○			2		1			オムニバス
	社会調査法	2後		2		○			1		1			
	スポーツ人文社会科学実習A	3前		2				○	1					
	スポーツ人文社会科学実習B	3後		2				○	1					
	身体運動科学の基礎	2前		2		○			1					
	実験計画法	2後		2		○			1					
	スポーツバイオメカニクス実験A	3前		2				○	3					共同
	スポーツバイオメカニクス実験B	3後		2				○	3					共同
	小計(8科目)	—	0	16	0	—			5	0	1	0	0	
アウトドアスポーツ関連領域	アウトドアスポーツ 理論及び実習A	1後・休		2				○	2					兼7 共同
	アウトドアスポーツ 理論及び実習B	2休		1				○	2					兼7 共同、集中
	アウトドアスポーツ 理論及び実習C	2休		1				○	2					兼3 共同、集中
	アウトドアスポーツ 理論及び実習D	3休		1				○	2					兼3 共同、集中
	海外アウトドアスポーツ 理論及び実習1	2・3休		2				○	1					兼1 共同、集中
	海外アウトドアスポーツ 理論及び実習2	2・3前・後		2				○	1					兼1 共同、集中
	小計(6科目)	—	0	9	0	—			3	0	0	0	0	兼8
体育・スポーツ科学研究	研究発表の技法	3後		2		○			1					
	体育・スポーツ科学研究ゼミナール1	3前	2				○		11		1			
	体育・スポーツ科学研究ゼミナール2	3後	2				○		11		1			
	体育・スポーツ科学研究ゼミナール3	4前	2				○		11		1			
	体育・スポーツ科学研究ゼミナール4	4後	2				○		11		1			
	小計(5科目)	—	8	2	0	—			11	0	1	0	0	0
合計(95科目)		—	46	117	0	—			11	0	1	0	0	兼170

教育課程等の概要														
(体育学部体育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士(体育学)		学位又は学科の分野			体育関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
以下の合計で124単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限:24単位(1学期))						1学年の学期区分		2学期						
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅰ現代文明論(必修科目) <u>2単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅱ現代教養科目(必修科目) <u>12単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅲ英語科目(必修科目) <u>8単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳ主専攻科目 <u>72単位修得</u> <必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 18単位修得 <選択必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 8単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 1単位修得 <選択科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 10単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 29単位修得 <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 <u>30単位修得</u> <u>合計124単位修得</u>						1学期の授業期間		14週						
						1時限の授業時間		100分						

教育課程等の概要														
(体育学部競技スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論I 現代文明	現代文明論	2後	2			○					1	1		兼16 オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	1	1	0	兼16
II 現代教養科目	基礎教養科目													
	人文科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	社会科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	自然科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
発展教養科目	シティズンシップ	1前	1			○								兼5
	ボランティア	1前	1			○								兼5
	地域理解	1後	1			○								兼4
	国際理解	1後	1			○								兼4 オムニバス
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼16
目健康スポーツ科	健康・フィットネス理論実習	1前	1					○						兼2 共同
	生涯スポーツ理論実習	1後	1					○						兼6 共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼8
III 英語科目	英語リスニング&スピーキング	1前	2					○						兼17
	英語リーディング&ライティング	1後	2					○						兼17
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼28
育成グローバル人材	グローバルスキル	2後	2					○						兼16
	アカデミック英語	2前	2					○						兼16
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼31

教育課程等の概要																
(体育学部競技スポーツ学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	身体教育学	体育・スポーツ総論	1後	2			○			2	1				兼12	オムニバス
		体育哲学	1前	2			○								兼1	
		体育経営管理学	1・2前・後		2			○							兼1	
		健康学概論	2後		2			○							兼1	
		武道概論	2後		2			○							兼2	
		生涯スポーツ概論	2前		2			○							兼1	
		レジャー・レクリエーション概論	1前		2			○							兼1	
		小計(7科目)	—	4	10	0		—		2	1	0	0	0	兼17	
スポーツ科学		スポーツ社会学	2前	2			○								兼1	
		スポーツ史	1・2前・後		2			○							兼2	
		スポーツ心理学	1・2前・後		2			○		1					兼1	
		スポーツ運動学(運動方法学を含む)	2前・後		2			○		1					兼1	
		スポーツバイオメカニクス	2前・後		2			○							兼2	
		スポーツ栄養学	1・2前・後		2			○							兼1	
		スポーツ人類学	3後		2			○							兼1	
		スポーツ医学	3前		2			○							兼1	
		アダブテッド・スポーツ概論	3後		2			○							兼1	
		小計(9科目)	—	2	16	0		—		2	0	0	0	0	兼10	

教育課程等の概要															
(体育学部競技スポーツ学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	スポーツ指導法	体づくり運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		器械運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○			1			
		陸上競技 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	2	1	1			共同
		水泳 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		バスケットボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1					
		ハンドボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	2					
		サッカー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○		1	1			
		ラグビー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1	1				
		バレーボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○		1		1		
		卓球 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		テニス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		バドミントン 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		ソフトボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
		柔道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		剣道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼3
		ダンス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼
	小計(16科目)	—	0	16	0	—			6	4	3	1	0	兼12	
基礎 関連 科目	解剖学	1前・後	2			○				1				兼2	
	発育発達老化論	3前	2			○								兼1	
	スポーツ統計	3前・後	2			○								兼	
	スポーツ産業概論	3後	2			○								兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	1	0	0	0	兼5	
教職 関連 科目	保健授業論	2前	2			○								兼	
	体育授業論	2後	2			○								兼	
	保健体育科教育法1	3前	2			○								兼2 共同	
	保健体育科教育法2	3後	2			○								兼2 共同	
	保健体育科教材論	3前・後	2			○								兼2 共同	
	保健体育科教育実践論	3後	2			○								兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼4	

教育課程等の概要														
(体育学部競技スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目(学科開講科目)	競技スポーツ入門	1前	2			○			2	1				共同
	スポーツ方法論	1後	2			○			1					
	基礎身体運動演習	1前・1後	2				○		2		1			共同
	生理学	2前	2			○								兼1
	運動生理学	2後	2			○								兼1
	情報処理	1後		2		○								兼3
	競技スポーツ海外実習	1前・後		2				○	1	2				共同
	トレーニング論	2後		2		○			1					
	スポーツ栄養学特講	2前		2		○								兼1
	スポーツ心理学特講	2前		2		○			1					
	スポーツ医学特講	2後		2		○								兼2 オムニバス
	アスリート論	2前		2		○			1					
	コーチング論	2前		2		○			1	1				オムニバス
	アスレティックトレーニング概論	2前		2		○				1				
小計(14科目)	—	10	18	0			—	7	4	1	0	0	兼8	
アスリート領域	競技スポーツ理論及び実習1-1	1前		2				○	7	4	3	1		兼8 共同
	競技スポーツ理論及び実習1-2	1後		2				○	7	4	3	1		兼9 共同
	競技スポーツ理論及び実習2-1	2前		2				○	7	4	3	1		兼8 共同
	競技スポーツ理論及び実習2-2	2後		2				○	7	4	3	1		兼9 共同
	競技スポーツ理論及び実習3-1	3前		2				○	7	4	3	1		兼8 共同
	競技スポーツ理論及び実習3-2	3後		2				○	7	4	3	1		兼9 共同
	競技スポーツ理論及び実習4-1	4前		2				○	7	4	3	1		兼8 共同
	競技スポーツ理論及び実習4-2	4後		2				○	7	4	3	1		兼9 共同
	スポーツ戦術実習1-1	1前		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習1-2	1後		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習2-1	2前		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習2-2	2後		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習3-1	3前		1				○	5	4	1	1		兼6 共同

教育課程等の概要														
(体育学部競技スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目(学科開講科目)	アスリート領域	スポーツ戦術実習3-2	3後	1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習4-1	4前		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	スポーツ戦術実習4-2	4後		1				○	5	4	1	1		兼6 共同
	小計(16科目)	—	0	24	0			—	7	4	3	1	0	兼9
コーチング領域	スピードトレーニング理論及び実習	2前		1				○	1					
	ストレングストレーニング理論及び実習	2後		1				○						兼1
	コーディネーショントレーニング理論及び実習	2前		1				○		1	1			共同
	エンデュランストレーニング理論及び実習	2後		1				○		2				共同
	メンタルトレーニング理論及び実習	2後		1				○	1					
	コーチング理論及び実習1	2前		1				○			3	1		共同
	コーチング理論及び実習2	2後		1				○			3	1		共同
	チームマネジメント論	3後		2		○			1					
	トレーニング測定評価演習	2後		2				○		1				
	スポーツパフォーマンス分析実習	3前		2				○			1			
	コーチング演習1	3前		2				○		1				
	コーチング演習2	3後		2				○		1				
	コーチング実践論1	3前		2		○			1					
	コーチング実践論2	3後		2		○								
小計(14科目)	—	0	21	0			—	4	4	4	1	0	兼1	
トレーナー領域	アスレティックトレーナー理論及び実習	2後		1				○		1				
	コンディショニング概論	2前		2		○				1				兼2 オムニバス
	スポーツマッサージ理論及び実習	2前・後		1				○		1				兼1
	テーピング理論及び実習	2後		1				○		1				兼1
	コンディショニング実習	2後		2				○		1				
	リハビリテーション理論及び実習	3前		2				○		1				兼2 共同
	アスレティックトレーナー演習1	3前		2				○		1				
	アスレティックトレーナー演習2	3後		2				○		1				
小計(8科目)	—	0	13	0			—	0	1	0	0	0	兼5	

教育課程等の概要														
(体育学部競技スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目 (学科開講科目)	競技スポーツ研究ゼミナール1	3前	2				○		7	6	3	0	0	
	競技スポーツ研究ゼミナール2	3後	2				○		7	8	3	0	0	
	競技スポーツ研究ゼミナール3	4前	2				○		7	8	3	0	0	
	競技スポーツ研究ゼミナール4	4後	2				○		7	8	3	0	0	
	小計(4科目)	—	8	0	0		—		7	8	3	0	0	
アウトド アスポ ーツ領 域	海外アウトドアスポーツ 理論及び実習1	2・3休		2				○						兼2 共同、集中
	海外アウトドアスポーツ 理論及び実習2	2・3前・後		2				○						兼2 共同、集中
	アウトドアスポーツ 理論及び実習A	1後・休		2				○	1					兼8 共同
	アウトドアスポーツ 理論及び実習B	2休		1				○	1					兼8 共同、集中
	アウトドアスポーツ 理論及び実習C	2休		1				○						兼5 共同、集中
	アウトドアスポーツ 理論及び実習D	3休		1				○						兼5 共同、集中
	小計(6科目)	—	0	9	0		—		1	0	0	0	0	兼9
教職 関 連 領 域	衛生学(労働衛生を含む)	2後・3前		2			○							兼1
	公衆衛生学	3後・後		2			○							兼1
	学校保健概論(小児保健・精神保健・学校安全を含む)	1前・後		2			○							兼1
	救急処置法	3前・後		2			○							兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0		—		0	0		0	0	兼3
合計(122科目)		—	46	155	0		—		8	6	4	1	0	兼157

教育課程等の概要														
(体育学部競技スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号	学士（体育学）		学位又は学科の分野			体育関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
以下の合計で124単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限：24単位（1学期）)						1学年の学期区分						2学期		
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅰ現代文明論（必修科目） <u>2単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目） <u>12単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅲ英語科目（必修科目） <u>8単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳ主専攻科目 <u>72単位修得</u> <必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 18単位修得 <選択必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <選択科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 10単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 32単位修得 <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 <u>30単位修得</u> <u>合計124単位修得</u>						1学期の授業期間						14週		
						1時限の授業時間						100分		

教育課程等の概要														
(体育学部武道学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論 I 現代文明	現代文明論	2後	2			○								兼18 オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼18
II 現代教養科目	基礎教養科目													
	人文科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	社会科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	自然科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
発展教養科目	シティズンシップ	1前	1			○								兼5
	ボランティア	1前	1			○								兼5
	地域理解	1後	1			○								兼3
	国際理解	1後	1			○								兼3 オムニバス
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼15
目 健康スポーツ科	健康・フィットネス理論実習	1前	1					○						兼2 共同
	生涯スポーツ理論実習	1後	1					○						兼6 共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼8
III 英語科目	英語リスニング&スピーキング	1後	2					○						兼21
	英語リーディング&ライティング	1前	2					○						兼21
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼32
育成グローバル人材	グローバルスキル	2後	2					○						兼16
	アカデミック英語	2前	2					○						兼16
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼31

教育課程等の概要																
(体育学部武道学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	身体教育学	体育・スポーツ総論	1後	2			○			2	2				兼11	オムニバス
		体育哲学	1前	2			○								兼1	
		体育経営管理学	1・2前・後		2			○							兼1	
		健康学概論	2後		2			○							兼1	
		武道概論	2後		2			○		2						
		生涯スポーツ概論	2前		2			○							兼1	
		レジャー・レクリエーション概論	1前		2			○							兼1	
		小計(7科目)	—	4	10	0		—		3	2	0	0	0	兼15	
	スポーツ科学	スポーツ社会学	2前		2			○							兼1	
		スポーツ史	1・2前・後		2			○							兼2	
スポーツ心理学		1・2前・後		2			○							兼2		
スポーツ運動学(運動方法学を含む)		2前・後		2			○							兼2		
スポーツバイオメカニクス		2前・後		2			○							兼2		
スポーツ栄養学		1・2前・後		2			○							兼1		
スポーツ人類学		3後		2			○							兼1		
スポーツ医学		3前		2			○		1							
アダブテッド・スポーツ概論		3後		2			○							兼1		
小計(9科目)		—	2	16	0		—		1	0	0	0	0	兼11		

教育課程等の概要															
(体育学部武道学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	スポーツ指導法	体づくり運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		器械運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		陸上競技 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼4 共同
		水泳 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		バスケットボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		ハンドボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		サッカー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		ラグビー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		バレーボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		卓球 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		テニス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		バドミントン 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		ソフトボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		柔道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1	1				
		剣道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○		3				
		ダンス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
	小計 (16科目)	—	0	16	0	—			1	4	0	0	0	兼30	
基礎関連科目		解剖学	1前・後	2			○								兼3
		発育発達老化論	3前	2			○								兼1
		スポーツ統計	3前・後	2			○								兼1
		スポーツ産業概論	3後	2			○								兼1
		小計 (4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼6
教職関連科目		保健授業論	2前	2											兼1
		体育授業論	2後	2											兼1
		保健体育科教育法1	3前	2											兼2 共同
		保健体育科教育法2	3後	2											兼2 共同
		保健体育科教材論	3前・後	2											兼2 共同
		保健体育科教育実践論	3後	2											兼1
		小計 (6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼4

教育課程等の概要															
(体育学部武道学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学科開講科目)	武道文化論	1前	2			○			1	1					オムニバス
	プレゼミナール	1前	2			○			2	5	1				オムニバス
	武道基礎実習	1前・後	1					○	1	1					共同
	日本刀講義	1前・後		2		○									兼1
	武道科学概論	2前	2						1	1					
	武道専門書講読	2後		2		○			2	1					
	小計(6科目)	—	7	4	0			—	5	5	1	0	0		兼1
研究ゼミナール	武道研究ゼミナール1	4前	2				○		4	5	1				
	武道研究ゼミナール2	4後	2				○		4	5	1				
	小計(2科目)	—	4	0	0			—	4	5	1	0	0		
武道学関連科目	整復概論	3前		2		○									兼1
	武道学研究法	3前		2		○			1	1					兼2 共同
	武道学実験	3後		2				○	1	1					兼2 共同
	武道特別実習1	3前		1				○	1						
	武道特別実習2	3後		1				○	1						
	小計(5科目)	—	0	8	0			—	2	1	0	0	0		兼4
武道実技科目	武道実習A(合気道)	2前		1				○							兼1
	武道実習B(空手道)	1前		1				○							兼1
	武道実習C(弓道)	3前		1				○							兼1
	武道実習D(居合道)	1後		1				○							兼1
	武道実習E(杖道)	2前		1				○	1						兼1
	小計(5科目)	—	0	5	0			—	1	0	0	0	0		兼5
武道基礎領域	情報処理	1後		2		○									兼1
	生理学	1後	2			○									兼1
	運動生理学	4後	2			○									兼1
	衛生学(労働衛生を含む)	2後・3前		2		○									兼1
	公衆衛生学	3後・後		2		○									兼1
	学校保健概論(小児保健・精神保健・学校安全を含む)	1前・後		2		○									兼1
	救急処置法	3前・後		2		○									兼1
	小計(7科目)	—	4	10	0			—	0	0	0	0	0		兼6

教育課程等の概要															
(体育学部武道学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学科開講科目)	海外アウトドラスポーツ 理論及び実習1	2・3休		2					○						兼2 共同、集中
	海外アウトドラスポーツ 理論及び実習2	2・3前・後		2					○						兼2 共同、集中
	アウトドラスポーツ 理論及び実習A	1後・休		2					○	1					兼8 共同、集中
	アウトドラスポーツ 理論及び実習B	2休		1					○	1					兼8 共同、集中
	アウトドラスポーツ 理論及び実習C	2休		1					○						兼5 共同、集中
	アウトドラスポーツ 理論及び実習D	3休		1					○						兼5 共同、集中
	小計 (6科目)		—	0	9	0			—	0	1	0	0	0	兼9
武道学基幹科目	柔道論	3後	2			○				3	1	1			オムニバス
	柔道史	1後	2			○				1	1				
	柔道指導論	3前	2			○				1					
	柔道指導法演習	3後		2			○			1					
	剣道論	3後	2			○				1					
	剣道史	1後	2			○				1	1				
	剣道指導論	3前	2			○					1				
	剣道指導法演習	3前		2			○				1				
	小計 (8科目)		—	12	4	0			—	4	4	1	0	0	
武道実技科目	剣道実習	1後		1					○	1	2				
	投の形	1前		1					○	1	1				共同
	固の形	1後		1					○		1				兼1 共同
	柔の形	2前		1					○			1			兼1 共同
	極の形	2後		1					○			1			兼1 共同
	古式の形	3前		1					○	1					
	護身術の形	3後		1					○	1					
	柔道形指導法1	4前		1					○	1	1				共同
	柔道形指導法2	4後		1					○	1	1				共同
	柔道特別実習1	1前		1					○	2					共同
	柔道特別実習2	1後		1					○			1			
	柔道特別実習3	2前		1					○	1		1			兼1 共同
	柔道特別実習4	2後		1					○		2				共同

教育課程等の概要															
(体育学部武道学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 （学科開講科目）	武道実技科目	柔道特別実習 5	3前	1					○			1			
	柔道特別実習 6	3後	1					○	2					共同	
	柔道特別実習 7	4前	1					○		2				共同	
	柔道特別実習 8	4後	1					○	1		1			兼1 共同	
	柔道実習	1後	1					○	1	2	1			オムニバス	
	日本剣道形 1	1前	1					○		2				共同	
	日本剣道形 2	1後	1					○		2				共同	
	なぎなた 1	2前	1					○		1				兼1 共同	
	なぎなた 2	2後	1					○		1				兼1 共同	
	居合道 1	3前	1					○						兼1	
	居合道 2	3後	1					○						兼1	
	剣道形指導法	4後	1					○		2				共同	
	古流の形	4後	1					○	1	1				共同	
	剣道特別実習 1	1前	1					○		1					
	剣道特別実習 2	1後	1					○		1					
	剣道特別実習 3	2前	1					○		1					
	剣道特別実習 4	2後	1					○		1					
	剣道特別実習 5	3前	1					○		1					
	剣道特別実習 6	3後	1					○		1					
	剣道特別実習 7	4前	1					○	1						
剣道特別実習 8	4後	1					○	1							
小計 (34科目)		—	0	34	0			—	4	5	1	0	0	兼4	
武道学 関連科目	柔道国際マネジメント実習	3前		2				○	1						
	柔道海外実習	3後		2				○	2					共同、集中	
	剣道審判法演習	2前		2				○		2				共同	
	剣道海外実習	3後		2				○		2				共同、集中	
	小計 (4科目)		—	0	8	0			—	2	2	0	0	0	

教育課程等の概要														
(体育学部生涯スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論I 現代文明	現代文明論	2後	2			○								兼18 オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼18
II 現代教養科目	基礎教養科目													
	人文科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	社会科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	自然科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
発展教養科目	シティズンシップ	1前	1			○								兼5
	ボランティア	1前	1			○								兼5
	地域理解	1後	1			○								兼3
	国際理解	1後	1			○								兼3 オムニバス
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼15
目健康スポーツ科	健康・フィットネス理論実習	1後	1					○	1					兼3 共同
	生涯スポーツ理論実習	1前	1					○						兼4 共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼7
III 英語科目	ケ英語シミュレーション科目													
	英語リスニング&スピーキング	1前	2					○						兼20
	英語リーディング&ライティング	1後	2					○						兼20
	小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼35
	育成グローバル人材													
グローバル	グローバルスキル	2後	2					○						兼16
アカデミック英語	2前	2					○							兼16
小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼31	

教育課程等の概要																		
(体育学部生涯スポーツ学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	身体教育学	体育・スポーツ総論	1後	2			○			1					兼14	オムニバス		
		体育哲学	1前	2			○								兼1			
		体育経営管理学	1・2前・後		2			○			1							
		健康学概論	2後		2			○		1								
		武道概論	2後		2			○							兼2			
		生涯スポーツ概論	2前		2			○		1								
		レジャー・レクリエーション概論	1前		2			○							兼1			
		小計(7科目)	—	4	10	0	—			2	1	0	0	0	兼17			
	スポーツ科学		スポーツ社会学	2前	2			○								兼1		
			スポーツ史	1・2前・後		2			○							兼2		
		スポーツ心理学	1・2前・後		2			○			1				兼1			
		スポーツ運動学(運動方法学を含む)	2前・後		2			○							兼2			
		スポーツバイオメカニクス	2前・後		2			○							兼2			
		スポーツ栄養学	1・2前・後		2			○							兼1			
		スポーツ人類学	3後		2			○							兼1			
		スポーツ医学	3前		2			○							兼1			
		アダプテッド・スポーツ概論	3後		2			○							兼1			
		小計(9科目)	—	2	16	0	—			0	1	0	0	0	兼11			

教育課程等の概要																
(体育学部生涯スポーツ学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	スポーツ指導法	体づくり運動 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		器械運動 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		陸上競技 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼4 共同
		水泳 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		バスケットボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		ハンドボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼2
		サッカー 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼2
		ラグビー 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼2
		バレーボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼2
		卓球 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		テニス 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		バドミントン 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		ソフトボール 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
		柔道 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼2
		剣道 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼3
		ダンス 理論及び実習	1・2・3前・後		1					○						兼1
	小計(16科目)	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	0	兼26	
基礎 関連 連科目	解剖学	1前・後		2					○		1					兼2
	発育発達老化論	3前		2					○							兼1
	スポーツ統計	3前・後		2					○							兼1
	スポーツ産業概論	3後		2					○							兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	—			1	0	0	0	0	0	兼3	
教職 関連 連科目	保健授業論	2前		2					○							兼1
	体育授業論	2後		2					○							兼1
	保健体育科教育法1	3前		2					○						兼2 共同	
	保健体育科教育法2	3後		2					○						兼2 共同	
	保健体育科教材論	3前・後		2					○						兼2 共同	
	保健体育科教育実践論	3後		2					○						兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	0	兼4	

教育課程等の概要															
(体育学部生涯スポーツ学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目(学科開講科目)	基礎領域	生涯スポーツ基礎セミナー	1前	2			○			3	1	1			共同
		生涯スポーツ論	1前	4			○			3	1				
		生理学	1前	2			○			1					
		運動生理学	1前	2			○			1					
		情報処理	1前		2		○			1					
		救急処置法	1前		2		○								兼2
		生涯スポーツボランティア実習1	1前		1			○		2	1				
		生涯スポーツ基礎演習	1後	2				○		1		1			共同
		小計(8科目)	—	12	5	0		—		5	3	1	0	0	兼2
野外活動領域		アウトドアスポーツ 理論及び実習A	1後・休		2			○			1				兼8 共同
		アウトドアスポーツ 理論及び実習B	2休		1			○			1				兼8 共同、集中
		アウトドアスポーツ 理論及び実習C	2休		1			○							兼5 共同、集中
		アウトドアスポーツ 理論及び実習D	3休		1			○							兼5 共同、集中
		冬季野外活動理論演習	1後・休	3				○		5	3	1	1		兼1 共同、集中
		夏季野外活動理論演習	2前・休	3				○		5	3	1	1		兼1 共同、集中
		海外アウトドアスポーツ 理論及び実習1	2・3休		2			○							兼2 共同、集中
		海外アウトドアスポーツ 理論及び実習2	2・3前・後		2			○							兼2 共同、集中
		野外活動指導演習	3前・休		3			○			1				集中
	小計(9科目)	—	6	12	0		—		5	3	1	1	0	兼11	
生涯スポーツ領域		生涯スポーツ政策論	2後		2		○			1					
		レクリエーションスポーツ演習	2前・後		2			○		1	1				
		生涯スポーツ企画・運営演習	2前		2			○		1					
		地域スポーツクラブ経営論	4前・後		2		○			1					
		アダプテッド・スポーツ演習	3前・後		2			○		1					
		子どもと遊び演習	3前・後		2			○			1				
		高齢者スポーツ演習	3前		2			○		1	1	1			
		小計(7科目)	—	0	14	0		—		1	1	1	0	0	

教育課程等の概要														
(体育学部生涯スポーツ学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
IV 主専攻科目(学科開講科目)	健康教育論	2前		2		○			1					
	健康スポーツ心理学	2前		2		○				1				
	運動処方論	2前		2		○			1					
	健康・体力づくり演習	2前		2			○		1		1		兼1	オムニバス
	エアロビクス運動演習	2前・後		2			○		1		1			共同
	スポーツカウンセリング	3前・後		2		○				1				
	健康運動指導特講	4前		2		○			1					
	運動処方演習	3前		2			○		1					
	運動処方応用実習	3前・後		2				○	2					兼1
	小計(9科目)	—	0	18	0	—			4	1	1			兼2
保健・衛生領域	衛生学(労働衛生を含む)	1前		2		○						1		
	公衆衛生学	1前		2		○						1		
	学校保健概論(小児保健・精神保健・学校安全を含む)	1前		2		○			1					
	成人保健学	2前・後		2		○			1					
	環境保健学	2前・後		2		○						1		
	環境評価デザイン実習	2前・後		2				○	1					兼1 共同
	救急法	3前		2			○			1				兼1 共同、集中
	労働衛生法規1(労働基準法を含む)	3前		2		○								兼1
	労働衛生法規2(労働基準法を含む)	3後		2		○								兼1
小計(9科目)	—	0	18	0	—			3	1	0	1	0	兼2	
研究・応用領域	生涯スポーツボランティア実習2	3前		1				○	2	1				
	生涯スポーツインターンシップ	3前・休		3				○	2	1				共同、集中
	生涯スポーツ・健康科学研究法	3前	2				○			1		1		
	生涯スポーツ研究ゼミナール1	3前	2				○		6	3	1	1		
	生涯スポーツ研究ゼミナール2	3後	2				○		6	3	1	1		
	生涯スポーツ研究ゼミナール3	4前	2				○		6	3	1	1		
	生涯スポーツ研究ゼミナール4	4後	2				○		6	3	1	1	0	
	小計(7科目)	—	10	4	0	—			6	3	1	1	0	
合計(105科目)	—	56	133	0	—			6	3	1	1	0	兼119	

教育課程等の概要																					
(体育学部生涯スポーツ学科)																					
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考							
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手								
学位又は称号	学士（体育学）		学位又は学科の分野			体育関係															
卒業要件及び履修方法						授業期間等															
以下の合計で124単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限：24単位（1学期）)						1学年の学期区分						2学期									
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅰ現代文明論（必修科目） <u>2単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅱ現代教養科目（必修科目） <u>12単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅲ英語科目（必修科目） <u>8単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳ主専攻科目 <u>72単位修得</u> <必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 30単位修得 <選択必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 17単位修得 <選択科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 7単位修得 <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 <u>30単位修得</u> 合計124単位修得														1学期の授業期間						14週	

教育課程等の概要														
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
論I 現代文明	現代文明論	2後	2			○								兼18 オムニバス
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼18
II 現代教養科目	基礎教養科目													
	人文科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	社会科学	1後	2			○								兼4 オムニバス
	自然科学	1前	2			○								兼4 オムニバス
	小計(3科目)	—	6	0	0	—			0	0	0	0	0	兼12
発展教養科目	シティズンシップ	1後	1			○								兼5
	ボランティア	1後	1			○								兼5
	地域理解	1前	1			○								兼3
	国際理解	1前	1			○								兼3 オムニバス
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼15
目健康スポーツ科	健康・フィットネス理論実習	1後	1					○	1					兼1 共同
	生涯スポーツ理論実習	1前	1					○						兼4 共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼5
III 英語科目	ケ英語シコミュニケーション科目													
	英語リスニング&スピーキング	1後	2					○						兼17
	英語リーディング&ライティング	1前	2					○						兼17
小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼30	
育成グローバル人材	グローバル													
	グローバルスキル	2後	2					○						兼16
	アカデミック英語	2前	2					○						兼16
小計(2科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼31	

教育課程等の概要															
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学部共通科目)	身体教育学	体育・スポーツ総論	1後	2			○			1	1				兼13 オムニバス
		体育哲学	1前	2			○								兼1
		体育経営管理学	1・2前・後		2			○							兼1
		健康学概論	2後		2			○							兼1
		武道概論	2後		2			○							兼2
		生涯スポーツ概論	2前		2			○							兼1
		レジャー・レクリエーション概論	1前		2			○			1				
		小計（7科目）	—	4	10	0		—		1	2	0	0	0	兼16
	スポーツ科学	スポーツ社会学	2前	2			○								兼1
		スポーツ史	1・2前・後		2			○		1					兼1
スポーツ心理学		1・2前・後		2			○							兼2	
スポーツ運動学（運動方法学を含む）		2前・後		2			○							兼2	
スポーツバイオメカニクス		2前・後		2			○							兼2	
スポーツ栄養学		1・2前・後		2			○		1						
スポーツ人類学		3後		2			○		1						
スポーツ医学		3前		2			○							兼1	
アダプテッド・スポーツ概論		3後		2			○							兼1	
小計（9科目）	—	2	16	0		—		2	0	0	0	0	兼10		

教育課程等の概要															
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目(学部共通科目)	スポーツ指導法	体づくり運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		器械運動 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		陸上競技 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼4 共同
		水泳 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		バスケットボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		ハンドボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1					兼1
		サッカー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		ラグビー 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		バレーボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		卓球 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		テニス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1					
		バドミントン 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
		ソフトボール 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○	1					
		柔道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼2
		剣道 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼3
		ダンス 理論及び実習	1・2・3前・後	1					○						兼1
	小計(16科目)	—	0	16	0			—	2	1	0	0	0	兼23	
基礎関連科目		解剖学	1前・後	2				○							兼3
		発育発達老化論	3前	2				○							兼1
		スポーツ統計	3前・後	2				○							兼1
		スポーツ産業概論	3後	2				○			1				
		小計(4科目)	—	0	8	0			—	0	0	1	0	0	兼5
教職関連科目		保健授業論	2前	2				○							兼1
		体育授業論	2後	2				○							兼1
		保健体育科教育法1	3前	2				○							兼2 共同
		保健体育科教育法2	3後	2				○							兼2 共同
		保健体育科教材論	3前・後	2				○							兼2 共同
		保健体育科教育実践論	3後	2				○							兼1
		小計(6科目)	—	0	12	0			—	0	0	0	0	0	兼4

教育課程等の概要															
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目（学科開講科目）	専門基礎	スポーツ&レジャー概論	1前	2			○			1	1		1		共同
		マネジメント概論	1前	2			○			1			1		共同
		情報処理	1前		2		○								兼2
		小計（3科目）	—	4	2	0		—		2	1	0	1	0	兼2
		国際スポーツ&レジャー論	1前		4		○				1				
		国際イベントマネジメント論	1後		4		○			1	1				共同
		国際スポーツ&レジャーカルチャー論	2前		2		○				1				
		国際ツーリズム論	2後		2		○				1				
		国際コミュニケーション論	3前	2					○						兼2
		国際レジャーサービス論	3後	2					○		1				
		小計（6科目）	—	4	12	0		—		1	1	0	0	0	兼2
		スポーツ&レジャー各論	スポーツ&レジャー論A（文化）	2前		2		○			1				
			スポーツ&レジャー論B（コミュニケーション）	2前		2		○				1			
			スポーツ&レジャー論C（健康）	2前		2		○			1				
			スポーツ&レジャー論D（ゆとり）	2後		2		○				1			
			スポーツ&レジャー論E（環境）	2後		2		○				1			
			スポーツ&レジャー論F（ツーリズム）	2後		2		○					1		
			小計（6科目）	—	0	12	0		—		2	2	1	1	0
		マネジメント各論	マネジメント論A（メディア）	2前		2		○							兼1
		マネジメント論B（ファシリティ）	2前		2		○			1					
		マネジメント論C（ビジネス）	2前		2		○				1				
		マネジメント論D（組織）	2後		2		○			1					
		マネジメント論E（ファイナンス）	2後		2		○							兼1	
		マネジメント論F（マーケティング）	2後		2		○			1					
		小計（6科目）	—	0	12	0		—		2	0	1	0	0	兼2

教育課程等の概要															
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
IV 主専攻科目 (学科開講科目)	スポーツ&レジャー マネジメント実践	フレッシュマンゼミナール1	1前	2			○			2	2	1	0	0	
		フレッシュマンゼミナール2	1後	2			○			4	3	1	1	0	
		マネジメントゼミナール1	2前	2			○			4	3	1	1	0	
		マネジメントゼミナール2	2後	2			○			4	3	1	1	0	
		スポーツイベントマネジメント実習	2休	2				○		4	3	1	1	0	集中、共同
		スポーツ&レジャー海外実習	2休		2				○	1	1				集中、共同
		スポーツ&レジャーインターンシップ	3休		1				○		1	1			集中、オムニバス
		スポーツ&レジャーボランティア	3休		1				○		1	1			集中
		研究ゼミナール1	3前	2				○		4	3	1	1	0	
		研究ゼミナール2	3後	2				○		4	3	1	1	0	
		研究ゼミナール3	4前	2				○		4	3	1	1	0	
		研究ゼミナール4	4後	2				○		4	3	1	1	0	
		小計(12科目)	—	18	4	0		—		4	3	1	1	0	0
	教職関連領域		生理学	1前	2			○							
		運動生理学	1前	2			○								兼1
		衛生学(労働衛生を含む)	1前		2		○								兼1
		公衆衛生学	1前		2		○								兼1
		学校保健概論(小児保健・精神保健・学校安全を含む)	1前		2		○								兼1
		救急措置法	1前		2		○								兼1
		小計(6科目)	—	4	8	0		—		0	0	0	0	0	兼4
合計(95科目)			—	58	112	0	—		4	3	1	1	0	兼111	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号	学士（体育学）		学位又は学科の分野			体育関係								
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法						授 業 期 間 等								
以下の合計で124単位以上修得する。 （履修科目の登録の上限：24単位（1学期）） <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅰ 現代文明論（必修科目） <u>2単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅱ 現代教養科目（必修科目） <u>12単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅲ 英語科目（必修科目） <u>8単位修得</u> <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳ 主専攻科目 <u>72単位修得</u> <必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 30単位修得 <選択必修科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 17単位修得 <選択科目> <input checked="" type="checkbox"/> 学部共通 6単位修得 <input checked="" type="checkbox"/> 学科開講 7単位修得 <input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳの余剰、他学部・他学科科目を修得した単位 <u>30単位修得</u> <p style="text-align: right;"><u>合計124単位修得</u></p>						1 学年の学期区分		2 学期						
						1 学期の授業期間		1 4 週						
						1 時限の授業時間		1 0 0 分						

授 業 科 目 の 概 要			
(体育学研究科体育学専攻 博士課程後期)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通	スポーツ科学研究理論	<p>(概要) 博士課程後期においては、コースワークとして、スポーツ文化社会科学・スポーツ医科学・実践スポーツ科学の3領域において専門科目を開設し、その科目の担当者がそれぞれリサーチワークである特別研究科目を開設している。 スポーツ科学研究理論では、特別研究科目の担当者が、それぞれの分野の最新の研究方法論・研究成果の概説を行うことにより、リサーチワークへの導入と研究方法論の理解を促す。また、エビデンスに基づく研究成果、知見、技術などを社会へ還元することを目的に、データマネジメント、データサイエンスの概要についても学ぶ。さらに、全教員が担当することで、他領域の最新情報を踏まえたうえで、体育・スポーツ科学の学際性と領域の広がりを理解する。このことによって研究領域の多様性を認識して広い視野を持ち、体育・スポーツ科学に求められる社会課題を考察できる応用的な力を身につける。博士課程後期で学修を進め、博士論文を作成していきにあたり、自らの研究の指針・考え方を確立していくための基幹となる科目である。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>⑨ 萩 裕美子/2回) 第1回授業では研究・教育に必要な正義感・倫理観の重要性について学ぶことに加え、コースワークとして設定する3領域を概説し、自らが取り組む研究課題の可能性や博士論文作成までのプロセス等について解説する。第2回授業ではスポーツ・レジャーの概念整理と国内外の最先端研究動向を踏まえ、社会におけるスポーツやレジャーの関わりや役割、データマネジメントの概要について、3領域を跨る視点の必要性に加え、さらに複雑化する現代における体育・スポーツ科学分野だけではない幅広い視点と他分野との融合の必要性についても講義する。</p> <p>① 阿部 悟郎/1回) 体育・スポーツ哲学の立場から、体育学・スポーツ科学の学理論構成と現代的意義を踏まえた上で、体育・スポーツ哲学の現状と課題、そしてその現代的可能性について検討していく。とりわけ学校体育の諸問題に目を向けて、その哲学的基礎を人文主義に求め、現代社会における学校体育のありかたを論理的に模索する。</p> <p>② 松浪 稔/1回) スポーツ史・スポーツ人類学の研究の視点について、身体史、身体観、競技スポーツ、民族スポーツの具体的事例を取り上げながら、最新の研究動向や今後取り組むべき研究課題などとあわせて解説する。</p> <p>③ 松本 秀夫/1回) スポーツ心理学の対象は、教育、競技、健康、レジャーなど様々であり、その研究方法も多岐に渡る。最新の研究トピックを取り上げ、最先端の分析方法や研究の動向、今後取り組むべき研究課題などを解説する。</p> <p>④ 八田 有洋/1回) 至適運動から高強度トレーニングまで、エクササイズが脳に及ぼす影響について解説する。</p> <p>⑤ 山田 洋/1回) バイオメカニクスの方法論・研究成果について紹介した上で、研究計画、実験方法、データの解釈・考察の実際について解説する。また、データサイエンスの概要についても講義する。</p> <p>⑥ 内山 秀一/1回) 運動やトレーニングは、身体に急性的及び慢性的な変化をもたらす。特に、筋の形態的及び機能的変化は顕著である。運動やトレーニング刺激に対する筋の適応メカニズムについて、最新の研究トピックを取り上げ、今後取り組むべき研究課題について解説する。</p> <p>⑦ 宮崎 誠司/1回) スポーツに関する生理学・形態学的な基礎研究と、選手の健康管理や外傷・障害の治療ならびに予防についての臨床研究について解説する。</p> <p>⑧ 久保田 晃生/1回) 健康づくり・介護予防のための身体活動の意義、身体不活動の諸課題について、修士論文より検索範囲を広めた国内外の運動疫学的研究における文献研究及び運動疫学的手法による実証的研究から明らかとすることについて、研究指導を行う。</p> <p>⑩ 野坂 俊弥/1回) 種々の健康関連概念について概説し、それと保健体育・身体活動との関連性について探求することを通じて、グローバルなクリティカルシンキングの必要性について議論する。</p> <p>⑪ 吉岡 尚美/1回) アダプテッド体育・スポーツをテーマに、障がい者とスポーツを取り巻く現状と諸課題について、国内外の研究動向を踏まえて解説する。</p> <p>⑫ 押見 大地/1回) スポーツマネジメントに関する代表的な理論的背景を学修しつつ、学んだ理論や知識体系を実学としてのスポーツマネジメントと関連付けて考察する能力について解説する。また、データマネジメントの概要についても講義する。</p> <p>⑬ 松下 宗洋/1回) 根拠に基づく医学 (EBM) について紹介した上で、疫学による根拠 (エビデンス) の作り方、また今後の発展が期待される体育・スポーツ医学領域における疫学研究について紹介する。また、データサイエンスの概要についても講義する。</p>	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通	スポーツ科学研究法A	<p>(概要) スポーツ科学研究法Aは、データマネジメントに関する科目であり、体育・スポーツ科学において得られたデータに関して、得られた知見を組織的運営に活かすこと、および継続的にデータを得るためのアプローチを学ぶ。 体育・スポーツ科学に必要な不可欠な代表的なデータ解析の理論と実践を学修するとともに、結果だけでなくプロセスを研究するアクションリサーチ（質的研究）についても身につけることを目標とする。また、学際的研究に必要な共同研究を実施するための組織的運営について学ぶ。同時に、マネジメントやビジネスへの応用についても学び、さらに、データの正しい取り扱いと倫理の育成も進めていく。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(9 萩 裕美子/7回) 第1回授業では、本科目で扱う研究方法に加え、博士論文作成に向けて、より高度な情報の取り扱い方、情報倫理、研究倫理、道徳観等について概説を行う。 第2～4, 7～9回授業では、学際的な研究の意義、データに基づく量的研究方法とプロセスや事例を研究として落とし込む質的研究方法、さらには双方を使用した混合研究方法について学修する。また研究方法の一つとして共同研究を実施する上での組織的運営方法についても概説する。</p> <p>(12 押見 大地/7回) 第5～6, 10～14回授業では、スポーツ消費者行動研究といったスポーツマネジメントに関わる題材をもとに、その研究手法や学術論文の執筆・発表方法全般について学修していく。また、スポーツ科学がビジネスとしてどのように応用できるのか事例をもとに解説する。</p>	オムニバス方式
	スポーツ科学研究法B	<p>(概要) スポーツ科学研究法Bは、データサイエンスに関する科目であり、体育・スポーツ科学において得られたデータに関して、新たな科学的および社会に有益な知見を引き出そうとするアプローチを学ぶ。 体育・スポーツ科学領域において、量的データを用いる際には、研究成果として示すデータの正確さの担保が、研究の質を向上させる上では欠かせない。そのため、ミクロ・マクロな視点において、適切な量的データの入手（対象者の選定から測定・調査まで）から分析に至る、科学的知見を得るための手法の全体を学ぶ。同時に、得られた知見を社会に還元するためのアプローチを学び、さらに、データの正しい取り扱いと倫理の育成も進めていく。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(5 山田 洋/7回) 第1回授業では、本科目で扱う研究方法と、博士論文作成に向けた、より精度の高い情報の測定方法、情報倫理、研究倫理、道徳観等について概説を行う。 第2～7回授業では、バイオメカニクスを中心としたミクロな視点から体育・スポーツ科学研究に不可欠な研究の質を担保する要素を紹介する。具体的には、1) 測定による妥当性・信頼性および誤差、2) 測定原理への理解（筋電図及び動作解析を中心に）、3) 外的妥当性とトランスレーショナルリサーチについて、バイオメカニクスの観点から議論を行う。</p> <p>(13 松下 宗洋/7回) 第8～14回授業では、疫学を中心としたマクロな視点から体育・スポーツ科学研究で陥りやすい量的研究の”ピットフォール（落とし穴）”を紹介する。具体的には研究計画の立案に関わる、1) 研究デザインの選択、2) 対象者および対照集団の設定、3) 調査・測定方法の選定、4) 結果に影響を及ぼすバイアスについて、疫学の観点から議論を行うとともに、基礎から応用への「橋渡し」についても言及する。</p>	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門	高度スポーツ文化社会科学特講	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度スポーツ文化社会科学特講では、体育・スポーツ事象にみられる諸問題に対する体育学における人文社会科学的アプローチ（体育スポーツ哲学・倫理学、スポーツ史・人類学、スポーツ心理学）によって問題把握の多角化をはかるとともに、これを通して研究を独創的に遂行する能力を育成する。なお、本科目においては、体育スポーツ哲学・倫理学、スポーツ史・人類学、スポーツ心理学における最前線の議論や知見に触れ、修士課程で獲得された一般的研究能力における人文社会科学的認識・思考能力の洗練を通じて、学識と思考力を拡充し、研究者としての高度な創造性を養う。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(① 阿部 悟郎・② 松浪 稔・③ 松本 秀夫/2回) (共同) 第1回授業では、本科目で扱う研究領域である、最新の体育スポーツ哲学・倫理学、スポーツ史・人類学、スポーツ心理学などについて概説する。そして、第14回授業では、全体のまとめとして、研究テーマの確定に向けた意見交換等を行うとともに、3領域との関連、体育・スポーツ科学以外の分野との関連性や将来の可能性を含め解説する。そして、修士課程から身に付けてきた、本領域における専門的な知見と幅広い視点、そして他分野との融合を含め、自らの研究テーマとの関連性について再検証を行い、レポートの作成、ディスカッションを行う。</p> <p>(① 阿部 悟郎/4回) 第2～5回授業では、修士課程の人文社会科学的領域の授業において得られた哲学・倫理学領域の認識に基づいて、純粋哲学領域に関する諸理論の相互関係を段階的に検討していく。具体的には、体育哲学における哲学的思考の有効性を踏まえ、体育哲学の哲学的源泉、とくに観念論や実在論、自然主義、プラグマティズム、そして実存哲学に目を向けながら、体育本質論における人文主義的方向の可能性を模索していく。</p> <p>(② 松浪 稔/4回) 第6～9回授業では、スポーツとは何か？、人はなぜスポーツをするのか？、遊びとは何か？、身体とは何か？などのスポーツの根源にある問いに対する答えを探索すべく、人間とスポーツの関りについて歴史的に検討する。</p> <p>(③ 松本 秀夫/4回) 第10～13回授業では、体育・健康・スポーツ（競技・生涯・障害）・レジャーを対象としたスポーツ心理学研究の歴史的背景と方向性、最新の配票・インターネットによる量的研究、フィールドワークによる質研究、生理的指標を用いた研究の動向と課題について、解析と方法論を含め解説する。</p>	オムニバス方式・共同（一部）
	高度スポーツ医科学特講	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度スポーツ医科学特講では、体育・スポーツ事象にみられる諸問題に対する体育学における自然科学的アプローチ（スポーツ生理学、スポーツバイオメカニクス・体力学、スポーツ医学）を学び、博士課程後期の研究として、研究課題の焦点化に資する専門知識を身につける。同時に、当該学問分野における最前線の解析方法や研究事例に触れ、研究を独創的かつ創造的に遂行する能力を育成する。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(④ 八田 有洋・⑤ 山田 洋・⑥ 内山 秀一・⑦ 宮崎 誠司/2回) (共同) 第1回授業では、本科目で扱う研究領域である、最新のスポーツ生理学、スポーツバイオメカニクス・体力学、スポーツ医学などについて概説する。そして、第14回授業では、全体のまとめとして、研究テーマの確定に向けた意見交換等を行うとともに、3領域との関連、体育・スポーツ科学以外の分野との関連性や将来の可能性を含め解説する。そして、修士課程から身に付けてきた、本領域における専門的な知見と幅広い視点、そして他分野との融合を含め、自らの研究テーマとの関連性について再検証を行い、レポートの作成、ディスカッションを行う。</p> <p>(④ 八田 有洋/3回) 第2～4回授業では、脳・脊髄運動神経系の運動適応能について、最新のトピックスを取り上げ、運動生理学的研究の観点から解説する。</p> <p>(⑤ 山田 洋/3回) 第5～7回授業では、人間の基本運動の機構を科学的に分析するために必要な知識である運動学（解剖学・生理学・力学）について学び、先端のバイオメカニクス研究の理論・手法・成果を修得し、研究者としてスポーツの発展に貢献出来る最先端の知識とスキルの体得を目標とする。</p> <p>(⑥ 内山 秀一/3回) 第8～10回授業では、運動やトレーニング刺激に対する筋-神経の適応メカニズムについて、最新の研究トピックスを取り上げ、理論的背景やエビデンスについて解説する。</p> <p>(⑦ 宮崎 誠司/3回) 第11～13回授業では、スポーツによっておこる生理学・形態学的な変化を正常機能との違いや疾病、外傷・障害という異常な状態を理解し、戻すための治療ならびに予防について学修する。</p>	オムニバス方式・共同（一部）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門	高度実践スポーツ科学特講	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度実践スポーツ科学特講では、スポーツや運動、身体活動が、現代社会・国民に果たす具体的な意義について、修士課程より研究範囲を広げ国内外の様々な先端研究のエビデンスから考究する。特に、ウェルネス、スポーツ・レジャーマネジメント、健康づくり・介護予防の身体活動、アダプテッド体育・スポーツをキーワードとして、それぞれの分野の最新の研究動向やビジネスへの応用について、修士課程より深めた解説から、現代社会・国民と地域の発展に役立つ研究を遂行できる能力とマネジメント力を駆使した創造性を育成する。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(⑧ 久保田 晃生・⑨ 萩 裕美子・⑩ 野坂 俊弥・⑪ 吉岡 尚美/2回) (共同) 第1回授業では、現代社会・国民に役立つ研究を遂行できる能力とマネジメント力を駆使した創造性を養うことを目的に、本科目で扱う研究領域と役割、そして関連性について概説する。そして、第14回授業では、全体のまとめとして、研究テーマの確定に向けた意見交換等を行うとともに、3領域との関連、体育・スポーツ科学以外の分野との関連性や将来の可能性を含め解説する。そして、修士課程から身に付けてきた、本領域における専門的な知見と幅広い視点、そして他分野との融合を含め、自らの研究テーマとの関連性について再検証を行い、レポートの作成、ディスカッションを行う。</p> <p>(⑧ 久保田 晃生/3回) 第2～4回授業では、健康づくり・介護予防における身体活動の役割について、修士課程より研究範囲を広めた先端研究の成果に基づき考究する。また、この分野で具体的に研究を進めていく方法について解説する。</p> <p>(⑨ 萩 裕美子/3回) 第5～7回授業では、スポーツ・レジャーにおけるマネジメントに関する国内外の先端研究を考究するとともに、スポーツ・レジャーが果たす社会的役割、スポーツ・レジャー政策の評価について解説し、研究に落とし込む方法として質的研究、量的研究、混合研究がどう使えるのか、課題解決にどう役立てられるかを解説する。</p> <p>(⑩ 野坂 俊弥/3回) 第8～10回授業では、ウェルネス 概念の始祖であるハルバート・ダンの原著 "High Level Wellness"に触れ、それを具現した全米ウェルネス会議(National Wellness Conference)の歴史と現況について理解する。転じて、我が国における国民健康づくり対策「健康日本21 (第2次)」とそこに至る施策の変遷について世界的視野から考究することにより、今後の方策の方向性について議論する。</p> <p>(⑪ 吉岡 尚美/3回) 第11～13回授業では、アダプテッド体育・スポーツ分野における多様性と学際性について、国内外の先端研究をもとにその強みと課題を考究する。また、各障害種別の研究について具体的な方法と可能性を解説する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門	高度スポーツ文化社会科学演習	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度スポーツ文化社会科学演習では、体育・スポーツ事象にみられる諸問題に対する体育学における人文社会科学的方法 (体育スポーツ哲学・倫理学、スポーツ史・人類学、スポーツ心理学) によって問題解決能力の拡充をはかるとともに、これを通して研究を独創的に遂行する能力を高める。本科目においては、修士課程で獲得された一般的研究能力における人文社会科学的方法・思考能力のさらなる洗練のために、最前線の議論や知見を踏まえながら、広大で歴史的な知の総体において自らの問題追求を相対化することで、研究者としての学識や良識の錬磨と高度な研究スキルを身に付ける。さらに、教育研究における他の分野との融合を推進するため、隣接する分野 (社会学・歴史学等) の専門家・学生と協同したパネルディスカッションを行う。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(① 阿部 悟郎・② 松浪 稔・③ 松本 秀夫/2回) (共同) 第1回授業では、本科目で扱う演習内容について、現代社会における課題等について問題提起し人文社会学的なアプローチ方法について概説する。第14回授業では、履修者による発表・討議を中心とした授業全体の総括を行うとともに、隣接する分野 (社会学・歴史学等) の専門家・学生と協同しパネルディスカッションにより意見交換を行う。これにより、論文の作成能力や発表力の向上を目指すだけでなく、自分の研究テーマについて広い視点で俯瞰的に見直しを行い、より独創性と創造性の高い研究の実現を目指す。</p> <p>(① 阿部 悟郎/4回) 第2～5回授業では、「高度スポーツ文化社会科学特講」の体育スポーツ哲学領域において得られた純粋哲学領域に関する諸理論の相互連関に基づいて、主題を体育本質論に絞り込み、いわゆる教育哲学の代表的な諸理論に焦点化して、とりわけ精神科学的教育学、教育人間学、実存哲学的教育学、人文主義的教育学を段階的に検討し、体育本質論の構成のための深い認識を養成していく。具体的には、体育哲学の思想的源泉の一つとしての精神科学的教育学の現代的な可能性を踏まえたうえで、その思想類型としての教育人間学と実存哲学的教育学に目を向けながら、体育本質論の構成における人文主義的教育学の現代的な可能性を模索していく。</p> <p>(② 松浪 稔/4回) 第6～9回授業では、身体史、身体観、メディア表象、オリンピック史、スポーツとメディアなどについて最新の研究動向を取り上げながら検討していく。</p> <p>(③ 松本 秀夫/4回) 第10～13回授業は、「高度スポーツ文化社会科学特講」のスポーツ心理学領域において学んだ、心理的指標・生理的指標による最新のスポーツ心理学のアプローチによって、スポーツ・レジャー関与と情動・動機づけ・ライフスタイル変容・幸福感についての研究計画を立案する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門	高度スポーツ医科学演習	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度スポーツ医科学演習では、体育・スポーツ事象にみられる諸問題に対する体育学における自然科学的アプローチ（スポーツ生理学、スポーツバイオメカニクス・体力学、スポーツ医学）の手法によるスポーツ科学実験研究のプロセス（計画→測定→処理→論議）を演習として学ぶ。これらを通じて、当該分野において、質の高い研究テーマ、研究デザイン、データの解釈・考察を行い、修士課程で学修した内容を基礎に、博士課程後期としてふさわしい研究者としての学識や良識の錬磨と、論文執筆を遂行できる高度な研究スキルを身に付ける。さらに、後半の共同部分で、医学、工学、理学等他分野が融合したプロジェクト研究に参加し、研究能力・成果を社会に還元する力を身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全14回)</p> <p>(④ 八田 有洋・⑤ 山田 洋・⑥ 内山 秀一・⑦ 宮崎 誠司/6回) (共同) 第1回授業では、本科目で扱う演習内容について、現代社会における課題等について問題提起し自然科学的なアプローチ方法について概説する。第10～14回授業では、医学、工学、理学等の他の分野と融合したプロジェクト研究に参加し、計画・測定・処理・論議の全体を経験・発表し、研究能力・成果を社会に還元する力を身につける。特に、第14回授業においては、プロジェクト研究に参加した結果について、自分の研究テーマと関連した「現状との差異や問題点」などについて発表・意見交換も行い、より広い視点をもった俯瞰的な見直しを行い、より独創性と創造性の高い研究の実現につなげていくことを目指す。</p> <p>(④ 八田 有洋/2回) 第2～3回授業では、随意運動と認知過程の関連性について筋電図や脳電位などの電気生理学的指標を用いて検証する。高次脳機能の測定を行うことから、修士課程より高度な内容となっている。</p> <p>(⑤ 山田 洋/2回) 第4～5回授業では、人間の基本運動の機構を科学的に分析するために必要な知識である運動学（解剖学・生理学・力学）について学び、先端のキネシオロジー研究の理論・手法・成果を修得し、研究者としてスポーツの発展に貢献出来る最先端の知識とスキルの体得を目標とする。最新のモーションキャプチャシステムを駆使して力学的分析を行うことにより、修士課程より高度な内容となっている。</p> <p>(⑥ 内山 秀一/2回) 第6～7回授業では、運動やトレーニング刺激に対する筋-神経の適応メカニズムの検証方法を身につける。実験動物を用いて筋生理を学び、トレーニング方法の構築等を考える等、修士課程より高度な内容となっている。</p> <p>(⑦ 宮崎 誠司/2回) 第8～9回授業では、スポーツという外部の刺激に対する生体の機能的な応答、スポーツによって損なわれた病的状態から生まれる生体の機能的な応答、並びに外的操作である薬理的、機能的並びに外科的操作による構造的（解剖学）、機能的（生理学・生化学）修復を解説しそれに対して議論を行う。同時に、治療方法、emergency care for sportsの原理を実習を通じて学ぶことにより、修士課程より高度な内容となっている。</p>	オムニバス方式・共同（一部）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門	高度実践スポーツ科学演習	<p>(概要) 専門区分科目は、修士課程における専門科目で学んだ各領域の多数の科目を包括的に捉えて統合し、さらに高度化させると共に、研究成果を社会へ還元するための応用能力の獲得を目的として設置している。これにより、高度実践スポーツ科学演習では、スポーツや運動、身体活動が、現代社会において貢献しうる研究テーマや研究デザインを、具体的に考案する能力を養う。特に、ウェルネス、スポーツ・レジャーマネジメント、健康づくり・介護予防の身体活動、アダプテッド体育・スポーツをキーワードとして、それぞれの分野において、質の高い研究テーマや実現可能な研究デザインを立案し、ビジネスに応用するための最新情報を取り扱う。加えて、対象領域の広い実践スポーツ科学分野の専門家となるため、修士課程で学修した内容を基礎に、博士課程後期としてふさわしい学識や良識の錬磨を図り、自立した研究者になるための高度な研究スキルを身に付ける。また、実践スポーツ科学の担当教員が進めているプロジェクト研究や活動の内容を理解するとともに参加して、中核的に研究に携わることで、博士論文のテーマについての研究を深めていく。 (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(⑧ 久保田 晃生・⑨ 萩 裕美子・⑩ 野坂 俊弥・⑪ 吉岡 尚美/2回) (共同) 第1回授業では、本科目で扱う演習内容について、現代社会における課題等について問題提起し、具体的に貢献し得るスポーツや運動についての可能性について概説する。第14回授業においては、プロジェクト研究に参加した結果について、自分の研究テーマと関連した「現状との差異や問題点」などについて発表・意見交換を行い、より広い視点をもった俯瞰的な見直しを行い、より独創性と創造性の高い研究の実現につなげていくことを目指す。</p> <p>(⑧ 久保田 晃生/3回) 第2～4回授業では、担当教員が取り組む健康づくり・介護予防のための身体活動促進プロジェクト研究を理解するとともに、具体的な参加内容を検討、調整する。</p> <p>(⑨ 萩 裕美子/3回) 第5～7回授業では、スポーツ・レジャーにおけるマネジメントの課題を現場の視点から考察するために、スポーツイベントの現場を体験し、連携の在り方や方法を考察したり、企業や団体の取り組みを取材してPDCAサイクルの観点からまとめ、社会に貢献できる研究テーマを選び、量的アプローチと質的アプローチの研究デザインを立案する。</p> <p>(⑩ 野坂 俊弥/3回) 第8～10回授業では、ウェルネス 概念の原著 “High Level Wellness” を講読し、その特異性と普遍性について議論する。また、「健康日本21 (第2次)」との類似点および相違点について議論し、健康教育および保健科教育に反映する可能性について議論する。さらに担当教員が事務局長を務める「日本ウェルネス学会」と「日本保健科教育学会」における議論に参加し、それぞれの領域における我が国最先端の専門的教養を獲得する。また、担当教員がアドバイザーを務める全米ウェルネス会議国際委員会のウェブ会議を聴講し、健康関連概念の世界的潮流について理解する。</p> <p>(⑪ 吉岡 尚美/3回) 第11～13回授業では、アダプテッド体育・スポーツ分野における実践研究テーマの立案と、研究計画・研究方法の検討、改善までを遂行できる能力を培うことをテーマに、実践スポーツ科学の担当教員が進めているプロジェクト研究や活動の内容を理解するとともに実際に参加する。 プロジェクト研究という実践の場を通じ、自らの研究テーマについての方針・取り組み方などについて再確認をおこなうことに加えて、より高度な専門性、より広い視点の必要性について再確認を行い、第14回目の発表に向けてレポートの作成を行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究 1	<p>(概要) 体育・スポーツ科学特別研究 1 では、研究指導教員のもと、自身の研究分野に関連する研究テーマの可能性について考究する。研究手法については予備実験、並びに理論構成に対しての議論を繰り返す、研究方法の精度や妥当性を検証する。学期後半には研究情報交換会においてプロポーザル（企画・提案）発表を行い、体育学研究科の教員から問題点の指摘や助言を受け、今後の研究の再構築をはかる。成績評価については、日常での研究への取り組みや研究計画の進捗状況、プロポーザル発表の内容による。</p> <p>(1 阿部 悟郎) 体育学・スポーツ科学の理論構成と現代的意義を踏まえ、体育・スポーツ哲学研究における精神科学的教育学に提起された教育学理論に基づいた現代的可能性を追求していくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(2 松浪 稔) スポーツ史・スポーツ人類学の分野について、特に、スポーツを支える身体の歴史（身体史：身体が歴史的に如何に扱われてきたか、近代的身体の形成過程）や、オリンピック史を中心に、身体、社会とスポーツの関係史について、最新の研究動向を踏まえながら検討することについて、研究指導を行う。</p> <p>(3 松本 秀夫) 体育・スポーツ・レジャー・健康に関する行動科学の理論的枠組みと知識体系を構造的に理解し、スポーツ・レジャーに関する事柄について、健康・スポーツ心理学、社会心理学によるアプローチから検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(4 八田 有洋) 長期運動トレーニングによって身体諸機能に適応変化が生じるとともにスキルの獲得やパフォーマンスが向上する。このようなヒトの運動適応能や可塑的变化について筋電図や脳電位などの電気生理学的指標を用いて検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(5 山田 洋・13 松下 宗洋) バイオメカニクスや電気生理学的な観点から、スポーツ（オリンピック選手）から日常動作（一般の高齢者等）に至るまであらゆる被験者を対象とし、その動作特性や生理機能を生理的生体情報をツールとして用いることで解明していく。さらに、被験者の身体機能向上や健康寿命促進へつなげていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(6 内山 秀一) 運動やトレーニングは、身体に急性的及び慢性的な変化をもたらす。特に、筋の形態的及び機能的変化は顕著である。運動やトレーニング刺激に対する筋の適応メカニズムについて、運動生理学及び運動生化学的手法により、発揮筋力、動作解析、筋電図、筋及び脳の血流動態、血中の代謝産物などを指標に実験的に検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(7 宮崎 誠司) スポーツによる生理学・形態学的な変化を正常機能の比較や疫病、外傷・障害といった異常状態の理解・知識を深め、薬理的、機能的、外科的操作による構造的、機能的修復へと導く手法を、スポーツ医学の観点から検証、考察することについて、研究指導を行う。</p> <p>(8 久保田 晃生) 健康づくり・介護予防における身体活動の意義および普及方法について、国内外の運動疫学的研究における文献研究及び運動疫学的手法による実証的研究から明らかとする事について、研究指導を行う。</p> <p>(9 萩 裕美子・12 押見 大地) スポーツやレジャーの振興において重要なステークホルダーである、消費者（実践者、観戦者）に焦点を当て、スポーツやレジャーへの興味や関心について、どのような要因が関連し、影響を及ぼしているのか、健康科学や行動科学、スポーツマネジメントの視点から調査、分析を試みる事について、研究指導を行う。</p> <p>(10 野坂 俊弥) ウェルネスをはじめとする健康関連概念の起源と変遷について考究し理解を深めるとともに、健康・保健に関連する諸問題について、実験的手法、統計学的分析等の科学的データに基づいた検証によって解決法を探っていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(11 吉岡 尚美) 障がい者のスポーツ活動の現状と諸課題をふまえ、現場につながる指導法について、国内外のアダプテッド体育・スポーツ学の文献研究、質的・量的な実践研究から明らかにすることについて、研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究2	<p>(概要) 体育・スポーツ科学特別研究2では、特別研究1でまとめた研究計画をより具体化し、実験系は実験方法のスキルを高め、文献系は資料収集の手順とその整理の仕方を学び、自身の研究を進めている。また、研究内容のプレゼンテーション、ディスカッションを行う能力を高め、研究成果をまとめるために、学会発表や学会誌へ投稿する準備を行う。学期後半には、研究情報交換会（博士論文作成計画発表会）で研究の進捗状況を発表する。体育学研究科の教員から問題点の指摘や助言を受け、研究内容の充実をはかる。成績評価については、日常の研究への取り組み状況や研究計画の進捗状況、博士論文作成計画発表会の内容による。</p> <p>(1 阿部 悟郎) 体育学・スポーツ科学の理論構成と現代的意義を踏まえ、体育・スポーツ哲学研究における精神科学的教育学に提起された教育学理論に基づいた現代的可能性を追求することについて、研究指導を行う。</p> <p>(2 松浪 稔) スポーツ史・スポーツ人類学の分野について、特に、スポーツを支える身体の歴史（身体史：身体が歴史的に如何に扱われてきたか、近代の身体の形成過程）や、オリンピック史を中心に、身体、社会とスポーツの関係史について、最新の研究動向を踏まえながら検討することについて、研究指導を行う。</p> <p>(3 松本 秀夫) 体育・スポーツ・レジャー・健康に関する行動科学の理論的枠組みと知識体系を構造的に理解し、スポーツ・レジャーに関する事柄について、健康・スポーツ心理学、社会心理学によるアプローチから検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(4 八田 有洋) 長期運動トレーニングによって身体諸機能に適応変化が生じるとともにスキルの獲得やパフォーマンスが向上する。このようなヒトの運動適応能や可塑的变化について筋電図や脳電位などの電気生理学的指標を用いて検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(5 山田 洋・13 松下 宗洋) バイオメカニクスや電気生理学的な観点から、スポーツ（オリンピック選手）から日常動作（一般の高齢者等）に至るまであらゆる被験者を対象とし、その動作特性や生理機能を生理的生体情報をツールとして用いることで解明していく。さらに、被験者の身体機能向上や健康寿命促進へつなげていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(6 内山 秀一) 運動やトレーニングは、身体に急性的及び慢性的な変化をもたらす。特に、筋の形態的及び機能的変化は顕著である。運動やトレーニング刺激に対する筋の適応メカニズムについて、運動生理学及び運動生化学的手法により、発揮筋力、動作解析、筋電図、筋及び脳の血流動態、血中の代謝産物などを指標に実験的に検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(7 宮崎 誠司) スポーツによる生理学・形態学的な変化を正常機能の比較や疫病、外傷・障害といった異常状態の理解・知識を深め、薬理的、機能的、外科的操作による構造的、機能的修復へと導く手法を、スポーツ医学の観点から検証、考察することについて、研究指導を行う。</p> <p>(8 久保田 見生) 健康づくり・介護予防における身体活動の意義および普及方法について、国内外の運動疫学的研究における文献研究及び運動疫学的手法による実証的研究から明らかとすることについて、研究指導を行う。</p> <p>(9 萩 裕美子・12 押見 大地) スポーツやレジャーの振興において重要なステークホルダーである、消費者（実践者、観戦者）に焦点を当て、スポーツやレジャーへの興味や関心について、どのような要因が関連し、影響を及ぼしているのか、健康科学や行動科学、スポーツマネジメントの視点から調査、分析を試みることにについて、研究指導を行う。</p> <p>(10 野坂 俊弥) ウェルネスをはじめとする健康関連概念の起源と変遷について考究し理解を深めるとともに、健康・保健に関連する諸問題について、実験的手法、統計学的分析等の科学的データに基づいた検証によって解決法を探っていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(11 吉岡 尚美) 障がい者のスポーツ活動の現状と諸課題をふまえ、現場につながる指導法について、国内外のアップデート体育・スポーツ学の文献研究、質的・量的な実践研究から明らかにすることについて、研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究3	<p>(概要) 体育・スポーツ科学特別研究3では、特別研究2でまとめた研究成果をもとに、博士論文の作成を進める。学期後半には、研究情報交換会(博士論文作成中間発表会)でこれまでの成果を中間報告として行う。体育学研究科の教員から問題点の指摘や助言を受け、博士論文作成に関わる知見を得て、さらに質の高い研究にするための検討を行う。成績評価については、日常の研究に対する取り組み状況や研究計画の進捗状況、博士論文作成中間発表会の内容による。</p> <p>(1 阿部 悟郎) 体育学・スポーツ科学の理論構成と現代的意義を踏まえ、体育・スポーツ哲学研究における精神科学的教育学に提起された教育学理論に基づいた現代的可能性を追求していくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(2 松浪 稔) スポーツ史・スポーツ人類学の分野について、特に、スポーツを支える身体の歴史(身体史:身体が歴史的に如何に扱われてきたか、近代的身体の形成過程)や、オリンピック史を中心に、身体、社会とスポーツの関係史について、最新の研究動向を踏まえながら検討することについて、研究指導を行う。</p> <p>(3 松本 秀夫) 体育・スポーツ・レジャー・健康に関する行動科学の理論的枠組みと知識体系を構造的に理解し、スポーツ・レジャーに関する事柄について、健康・スポーツ心理学、社会心理学によるアプローチから検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(4 八田 有洋) 長期運動トレーニングによって身体諸機能に適応変化が生じるとともにスキルの獲得やパフォーマンスが向上する。このようなヒトの運動適応能や可塑的变化について筋電図や脳電位などの電気生理学的指標を用いて検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(5 山田 洋・13 松下 宗洋) バイオメカニクスや電気生理学的な観点から、スポーツ(オリンピック選手)から日常動作(一般の高齢者等)に至るまであらゆる被験者を対象とし、その動作特性や生理機能を生理的生体情報をツールとして用いることで解明していく。さらに、被験者の身体機能向上や健康寿命促進へつなげていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(6 内山 秀一) 運動やトレーニングは、身体に急性的及び慢性的な変化をもたらす。特に、筋の形態的及び機能的変化は顕著である。運動やトレーニング刺激に対する筋の適応メカニズムについて、運動生理学及び運動生化学的手法により、発揮筋力、動作解析、筋電図、筋及び脳の血流動態、血中の代謝産物などを指標に実験的に検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(7 宮崎 誠司) スポーツによる生理学・形態学的な変化を正常機能の比較や疫病、外傷・障害といった異常状態の理解・知識を深め、薬理的、機能的、外科的操作による構造的、機能的修復へと導く手法を、スポーツ医学の観点から検証、考察することについて、研究指導を行う。</p> <p>(8 久保田 晃生) 健康づくり・介護予防における身体活動の意義および普及方法について、国内外の運動疫学の研究における文献研究及び運動疫学的手法による実証的研究から明らかとすることについて、研究指導を行う。</p> <p>(9 萩 裕美子・12 押見 大地) スポーツやレジャーの振興において重要なステークホルダーである、消費者(実践者、観戦者)に焦点を当て、スポーツやレジャーへの興味や関心について、どのような要因が関連し、影響を及ぼしているのか、健康科学や行動科学、スポーツマネジメントの視点から調査、分析を試みることにについて、研究指導を行う。</p> <p>(10 野坂 俊弥) ウェルネスをはじめとする健康関連概念の起源と変遷について考究し理解を深めるとともに、健康・保健に関連する諸問題について、実験的手法、統計学的分析等の科学的データに基づいた検証によって解決法を探っていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(11 吉岡 尚美) 障がい者のスポーツ活動の現状と諸課題をふまえ、現場につながる指導法について、国内外のアドブテッド体育・スポーツ学の文献研究、質的・量的な実践研究から明らかにすることについて、研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	体育・スポーツ科学特別研究 4	<p>(概要) 体育・スポーツ科学特別研究 4 では、これまでの研究成果をまとめ、社会への貢献につなげていく博士論文を完成させることを目的とする。博士論文の構成と各章の執筆、推敲に関する指導を受け、論文を完成させる。学期後半には、研究情報交換会（博士論文完成発表会）で博士論文の発表を行う。成績評価については、日常の研究に対する取り組み状況や研究計画の進捗状況、博士論文の提出及び博士論文完成発表会での発表の内容による。</p> <p>(1 阿部 悟郎) 体育学・スポーツ科学の理論構成と現代的意義を踏まえ、体育・スポーツ哲学研究における精神科学的教育学に提起された教育学理論に基づいた現代的可能性を追求していくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(2 松浪 稔) スポーツ史・スポーツ人類学の分野について、特に、スポーツを支える身体の歴史（身体史：身体が歴史的に如何に扱われてきたか、近代的身体の形成過程）や、オリンピック史を中心に、身体、社会とスポーツの関係史について、最新の研究動向を踏まえながら検討することについて、研究指導を行う。</p> <p>(3 松本 秀夫) 体育・スポーツ・レジャー・健康に関する行動科学の理論的枠組みと知識体系を構造的に理解し、スポーツ・レジャーに関する事柄について、健康・スポーツ心理学、社会心理学によるアプローチから検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(4 八田 有洋) 長期運動トレーニングによって身体諸機能に適応変化が生じるとともにスキルの獲得やパフォーマンスが向上する。このようなヒトの運動適応能や可塑的变化について筋電図や脳電位などの電気生理学的指標を用いて検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(5 山田 洋・13 松下 宗洋) バイオメカニクスや電気生理学的な観点から、スポーツ（オリンピック選手）から日常動作（一般の高齢者等）に至るまであらゆる被験者を対象とし、その動作特性や生理機能を生理的生体情報をツールとして用いることで解明していく。さらに、被験者の身体機能向上や健康寿命促進へつなげていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(6 内山 秀一) 運動やトレーニングは、身体に急性的及び慢性的な変化をもたらす。特に、筋の形態的及び機能的変化は顕著である。運動やトレーニング刺激に対する筋の適応メカニズムについて、運動生理学及び運動生化学的手法により、発揮筋力、動作解析、筋電図、筋及び脳の血流動態、血中の代謝産物などを指標に実験的に検証することについて、研究指導を行う。</p> <p>(7 宮崎 誠司) スポーツによる生理学・形態学的な変化を正常機能の比較や疫病、外傷・障害といった異常状態の理解・知識を深め、薬理的、機能的、外科的操作による構造的、機能的修復へと導く手法を、スポーツ医学の観点から検証、考察することについて、研究指導を行う。</p> <p>(8 久保田 晃生) 健康づくり・介護予防における身体活動の意義および普及方法について、国内外の運動疫学の研究における文献研究及び運動疫学的手法による実証的研究から明らかとすることについて、研究指導を行う。</p> <p>(9 萩 裕美子・12 押見 大地) スポーツやレジャーの振興において重要なステークホルダーである、消費者（実践者、観戦者）に焦点を当て、スポーツやレジャーへの興味や関心について、どのような要因が関連し、影響を及ぼしているのか、健康科学や行動科学、スポーツマネジメントの視点から調査、分析を試みることにについて、研究指導を行う。</p> <p>(10 野坂 俊弥) ウェルネスをはじめとする健康関連概念の起源と変遷について考究し理解を深めるとともに、健康・保健に関連する諸問題について、実験的手法、統計学的分析等の科学的データに基づいた検証によって解決法を探っていくことについて、研究指導を行う。</p> <p>(11 吉岡 尚美) 障がい者のスポーツ活動の現状と諸課題をふまえ、現場につながる指導法について、国内外のアドブテッド体育・スポーツ学の文献研究、質的・量的な実践研究から明らかにすることについて、研究指導を行う。</p>	

学校法人東海大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和2年度

東海大学

学 部	学科・専攻・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	
文学部	文学部	60	—	240		
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200	
		西洋史専攻	50	—	200	
		考古学専攻	30	—	120	
	日本文学科	90	—	360		
英語文化コミュニケーション学科	90	—	360			
文化社会学部	アジア学科	70	—	280		
	ヨーロッパ・アメリカ学科	70	—	280		
	北欧学科	60	—	240		
	文芸創作学科	60	—	240		
	広報メディア学科	100	—	400		
	心理・社会学科	90	—	360		
政治経済学部	政治学科	160	—	640		
	経済学科	160	—	640		
	経営学科	160	—	640		
法学部	法律学科	300	—	1200		
教養学部	人間環境学科	自然環境課程	65	—	260	
		社会環境課程	95	—	380	
	芸術学科	音楽学課程	32	—	128	
		美術学課程	20	—	80	
		デザイン学課程	38	—	152	
国際学科	80	—	320			
体育学部	体育学科	110	—	440		
	競技スポーツ学科	140	—	560		
	武道学科	60	—	240		
	生涯スポーツ学科	110	—	440		
	スポーツ・レジャーマネジメント学科	60	—	240		
健康学部	健康マネジメント学科	200	—	800		
理学部	数学科	80	—	320		
	情報数理学科	80	—	320		
	物理学科	80	—	320		
	化学科	80	—	320		
情報理工学部	情報科学科	100	—	400		
	コンピュータ応用工学科	100	—	400		
工学部	生命化学科	100	—	400		
	応用化学科	80	—	320		
	光・画像工学科	60	—	240		
	原子力工学科	40	—	160		
	電気電子工学科	140	—	560		
	材料科学科	80	—	320		
	建築学科	200	—	800		
	土木工学科	120	—	480		
	精密工学科	80	—	320		
	機械工学科	140	—	560		
	動力機械工学科	150	—	600		
	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360	
		航空操縦学専攻	50	—	200	
医用生体工学科	60	—	240			
観光学部	観光学科	200	—	800		
情報通信学部	情報メディア学科	80	—	320		
	組込みソフトウェア工学科	80	—	320		
	経営システム工学科	80	—	320		
	通信ネットワーク工学科	80	—	320		
海洋学部	海洋文明学科	80	—	320		
	環境社会学科	80	—	320		
	海洋地球科学科	80	—	320		
	水産学科	120	—	480		
	海洋生物学科	90	—	360		
	航海工学科	航海学専攻	20	—	80	
海洋機械工学専攻		60	—	240		
医学部	医学科	118	—	708	118名は令和3年度入学定員まで	
	看護学科	85	—	340		
経営学部	経営学科	150	—	600		
	観光ビジネス学科	80	—	320		
基盤工学部	電気電子情報工学科	80	—	320		
	医療福祉工学科	60	—	240		
農学部	応用植物科学科	80	—	320		
	応用動物科学科	80	—	320		
	バイオサイエンス学科	70	—	280		
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440		
	国際コミュニケーション学科	80	—	320		
	デザイン文化学科	70	—	280		
生物学部	生物学科	70	—	280		
	海洋生物科学科	70	—	280		
計		6773	—	27328		

令和3年度

東海大学

学 部	学科・専攻・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	変更の事由	
文学部	文学部	60	—	240			
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200		
		西洋史専攻	50	—	200		
		考古学専攻	30	—	120		
	日本文学科	90	—	360			
英語文化コミュニケーション学科	90	—	360				
文化社会学部	アジア学科	70	—	280			
	ヨーロッパ・アメリカ学科	70	—	280			
	北欧学科	60	—	240			
	文芸創作学科	60	—	240			
	広報メディア学科	100	—	400			
	心理・社会学科	90	—	360			
政治経済学部	政治学科	160	—	640			
	経済学科	160	—	640			
	経営学科	160	—	640			
法学部	法律学科	300	—	1200			
教養学部	人間環境学科	自然環境課程	65	—	260		
		社会環境課程	95	—	380		
	芸術学科	音楽学課程	32	—	128		
		美術学課程	20	—	80		
		デザイン学課程	38	—	152		
国際学科	80	—	320				
体育学部	体育学科	110	—	440			
	競技スポーツ学科	140	—	560			
	武道学科	60	—	240			
	生涯スポーツ学科	110	—	440			
	スポーツ・レジャーマネジメント学科	60	—	240			
健康学部	健康マネジメント学科	200	—	800			
理学部	数学科	80	—	320			
	情報数理学科	80	—	320			
	物理学科	80	—	320			
	化学科	80	—	320			
情報理工学部	情報科学科	100	—	400			
	コンピュータ応用工学科	100	—	400			
工学部	生命化学科	100	—	400			
	応用化学科	80	—	320			
	光・画像工学科	60	—	240			
	原子力工学科	40	—	160			
	電気電子工学科	140	—	560			
	材料科学科	80	—	320			
	建築学科	200	—	800			
	土木工学科	120	—	480			
	精密工学科	80	—	320			
	機械工学科	140	—	560			
	動力機械工学科	150	—	600			
	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360		
		航空操縦学専攻	50	—	200		
医用生体工学科	60	—	240				
観光学部	観光学科	200	—	800			
情報通信学部	情報メディア学科	80	—	320			
	組込みソフトウェア工学科	80	—	320			
	経営システム工学科	80	—	320			
	通信ネットワーク工学科	80	—	320			
海洋学部	海洋文明学科	80	—	320			
	環境社会学科	80	—	320			
	海洋地球科学科	80	—	320			
	水産学科	120	—	480			
	海洋生物学科	90	—	360			
	航海工学科	航海学専攻	20	—	80		
海洋機械工学専攻		60	—	240			
医学部	医学科	118	—	708	118名は令和3年度入学定員まで		
	看護学科	85	—	340			
経営学部	経営学科	150	—	600			
	観光ビジネス学科	80	—	320			
基盤工学部	電気電子情報工学科	80	—	320			
	医療福祉工学科	60	—	240			
農学部	応用植物科学科	80	—	320			
	応用動物科学科	80	—	320			
	バイオサイエンス学科	70	—	280			
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440			
	国際コミュニケーション学科	80	—	320			
	デザイン文化学科	70	—	280			
生物学部	生物学科	70	—	280			
	海洋生物科学科	70	—	280			
計		6773	—	27328			

令和2年度

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105	
地球環境科学研究科	地球環境科学専攻	(D)	10	—	30	
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30	
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	史学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	日本文学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	英文学専攻	(M)	4	—	8	
		(D)	2	—	6	
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
観光学専攻	(M)	8	—	16		
	(D)	4	—	12		
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
法学研究科	法学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20	
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8	
	造型芸術専攻	(M)	4	—	8	
体育学研究科	体育学専攻	(M)	15	—	30	
理学研究科	数理学専攻	(M)	8	—	16	
	物理学専攻	(M)	12	—	24	
	化学専攻	(M)	12	—	24	
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100	
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90	
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50	
	機械工学専攻	(M)	75	—	150	
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16	
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60	
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40	
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20	
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140	
健康科学研究科	看護学専攻	(M)	10	—	20	
	保健福祉学専攻	(M)	10	—	20	
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24	
生物科学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16	
計			565	—	1288	

令和3年度

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考	変更の事由
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105		
			<u>0</u>	—	<u>0</u>		令和3年4月学生募集停止
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30		
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	史学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	日本文学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	英文学専攻	(M)	4	—	8		
		(D)	2	—	6		
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
観光学専攻	(M)	8	—	16			
	(D)	4	—	12			
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
法学研究科	法学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20		
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8		
	造型芸術専攻	(M)	4	—	8		
体育学研究科	体育学専攻	(M)	<u>20</u>	—	<u>40</u>		定員変更(5)
		(D)	<u>3</u>	—	<u>9</u>		課程変更(認可申請)
理学研究科	数理学専攻	(M)	8	—	16		
	物理学専攻	(M)	12	—	24		
	化学専攻	(M)	12	—	24		
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100		
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90		
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50		
	機械工学専攻	(M)	75	—	150		
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16		
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60		
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40		
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20		
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140		
健康科学研究科	看護学専攻	(M)	10	—	20		
	保健福祉学専攻	(M)	10	—	20		
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24		
生物科学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16		
計			563	—	1277		